

2021 年度外国人技能実習生に対するオンライン健康支援事業（事業 ID：2020557878）
 実施結果レポート

公益社団法人国際人材革新機構

本レポートでは、本事業で実施した外国人技能実習生に対する健康相談の概要及び外国人技能実習生の健康に関する実態把握のためのアンケート調査（外国人技能実習生向け、受入れ企業向け）の結果概要を報告する。

1. 外国人技能実習生に対するオンライン健康相談

<実績の概要>

No.	実施日	国籍	職種	相談内容
1	2022 年 2 月 6 日	ベトナム	建設関係	胸部症状・口腔内の症状について不安がある
2	2022 年 2 月 6 日	ベトナム	建設関係	胸の痛み、健診結果について質問あり
3	2022 年 2 月 8 日	フィリピン	食品関係	健診の BMI が低いという指摘に対して、どのように体重を増やしたらよいか
4	2022 年 3 月 2 日	フィリピン	食品関係	1 年半前からときどき起きる上腹部痛、増悪傾向はないものの繰り返すため心配
5	2022 年 3 月 15 日	フィリピン	食品関係	頭痛、不眠（寝つきが悪い）
6	2022 年 4 月 13 日	フィリピン	食品関係	肩こり
7	2023 年 11 月 29 日	ベトナム	建設関係	職場の労働環境による頭痛や不眠
8	2023 年 11 月 29 日	ベトナム	建設関係	職場の労働環境におけるストレス
9	2023 年 11 月 29 日	ベトナム	建設関係	時々腹痛
10	2023 年 12 月 10 日	インド	農業関係	特に現在、健康について困ったことはないが、困った時のために体験したかった
11	2023 年 12 月 10 日	インド	農業関係	特に現在、健康について困ったことはないが、困った時のために体験したかった

2. 外国人技能実習生の健康に関する実態把握のためのアンケート調査（外国人技能実習生向け）

2. 1. 調査の概要

本調査は以下のとおり実施した。

目的	技能実習生がより健康に過ごせるよう、環境整備をするための基礎資料を得ることを目的に本調査を実施。
実施時期	2021年8月～10月
調査対象	当団体が監理する技能実習生
調査方法	紙によるアンケート調査
回収数	348名

2. 2. 結果

2. 2. 1. 回答した技能実習生について

(1) 年齢別

回答した技能実習生を年齢で区分すると、図 2-1-1 に示すとおり、20代が 67%、30代が 32%であった。

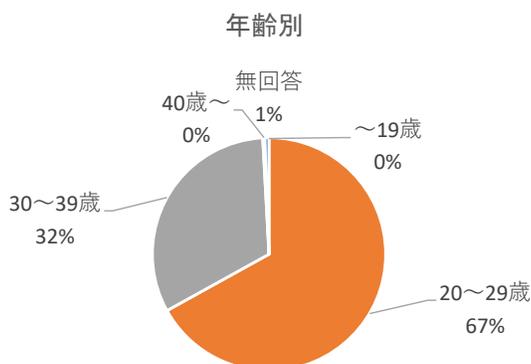


図 2-1-1 回答した技能実習生の年齢別割合

(2) 性別

回答した技能実習生を性別で区分すると、図 2-1-2 に示すとおり、男性が 39%、女性が 60%であった。

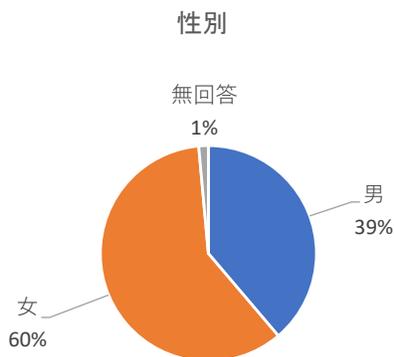


図 2-1-2 回答した技能実習生の性別割合

(3) 滞在期間別

回答した技能実習生を滞在期間別で区分すると、図 2-1-3 に示すとおり、全体のおよそ半数は来日してから2年以上3年未満が経過しており、4分の1が3年以上、残りが2年未満であった。

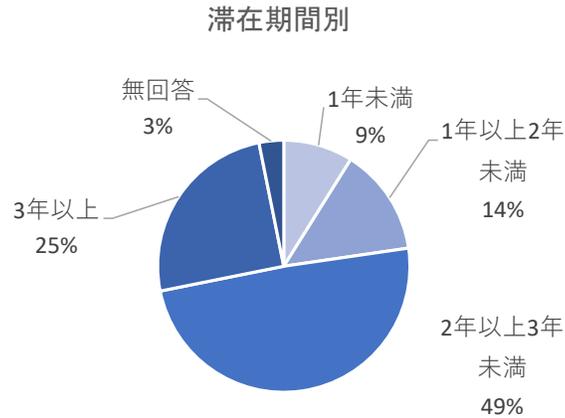


図 2-1-3 回答した技能実習生の滞在期間別割合

(4) 職種別

回答した技能実習生を職種別で区分すると、図 2-1-4 に示すとおり、食品製造が最も多く 59%、次いで建設が 28%、介護が 10%、その他が 3%であった。

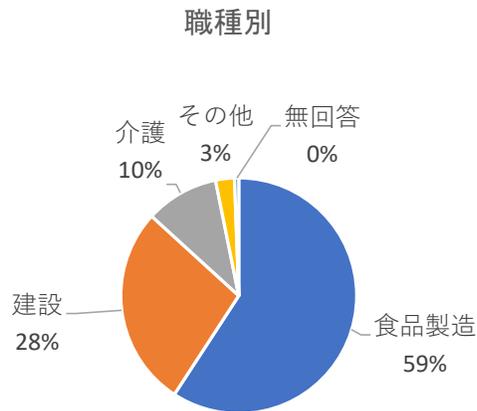


図 2-1-4 回答した技能実習生の職種別割合

(5) 国籍別

回答した技能実習生を国籍別で区分すると、図 2-1-5 に示すとおり、ベトナムが最も多く 69%、次いでフィリピンが 24%、タイとインドネシアが 3%、その他が 1%であった。

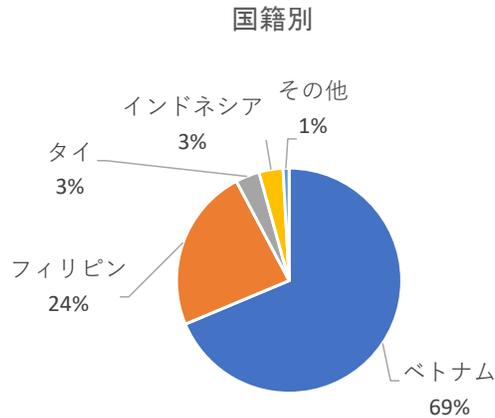


図 2-1-5 回答した技能実習生の国籍別割合

(6) 日本語学習期間（来日前）

来日前の日本語学習期間について尋ねたところ、図 2-1-6 に示すとおり、5～6ヶ月が最も多く全体の31%、半年以下が過半を占めていたが、1年超も8%いた。

1年超と回答した技能実習生のうち7割超は、入国時に他の職種より高い日本語能力が求められる介護職種であった。

1週間あたりの平均学習時間は、41時間であった。また、使用した教材について回答のあった336名のうち、95%超が「みんなの日本語」（スリーエーネットワーク）と回答した。

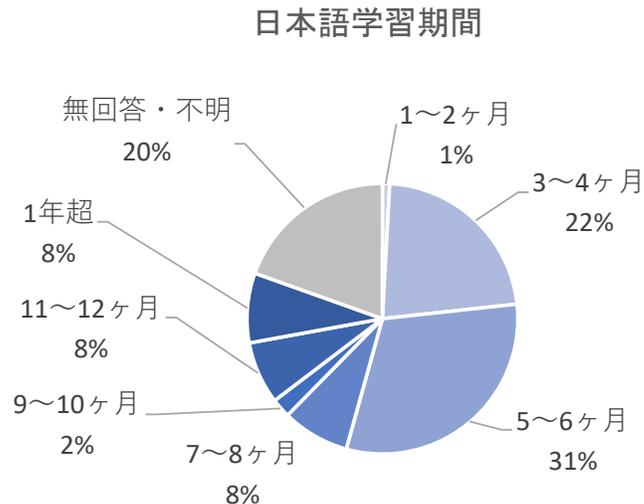


図 2-1-6 来日前の日本語学習期間

(7) 現在の日本語能力

現在の日本語能力について、会話力と文字の読解力を自己評価で尋ねた結果を図 2-1-7に示す。会話力については、「仕事（実習）に差し支えない程度に会話できる」47%と「日常生活に困らない程度に会話できる」42%が同程度に多かった。また文字の読解については、半数が「漢字が少し読める」程度と回答した。

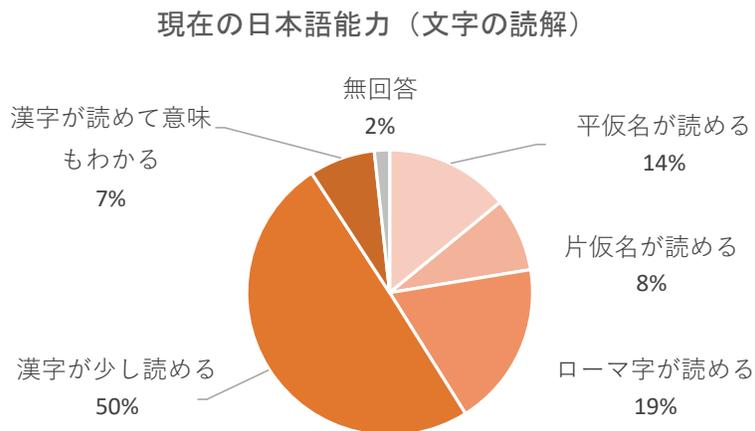
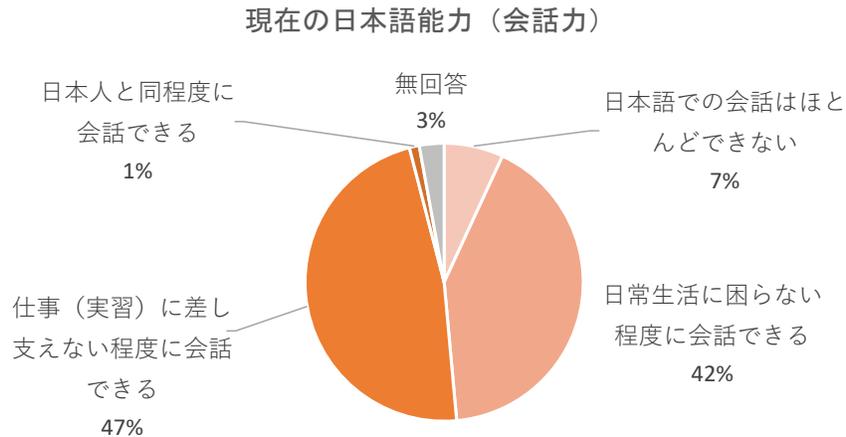


図 2-1-7 現在の日本語能力

2. 2. 2. 実習について

(1) 週平均労働日数と1日の平均労働時間

技能実習生に対し、1週間の平均的な労働日数を尋ねたところ、回答者全員の平均値で5.3日であった。また実習している日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を尋ねたところ、同8.2時間であった。

(2) 平日の日中以外の勤務

平日の日中勤務もあるかどうか尋ねたところ、図 2-2-2 に示すとおり、最も多かったのは「土曜出勤」で、次に「日曜・祝日出勤」、「その他」、「早朝勤務（朝 5～8 時）」、「深夜勤務（夜 10～朝 5 時）」、「夜間勤務（夜 8～10 時）」の順で多かった。

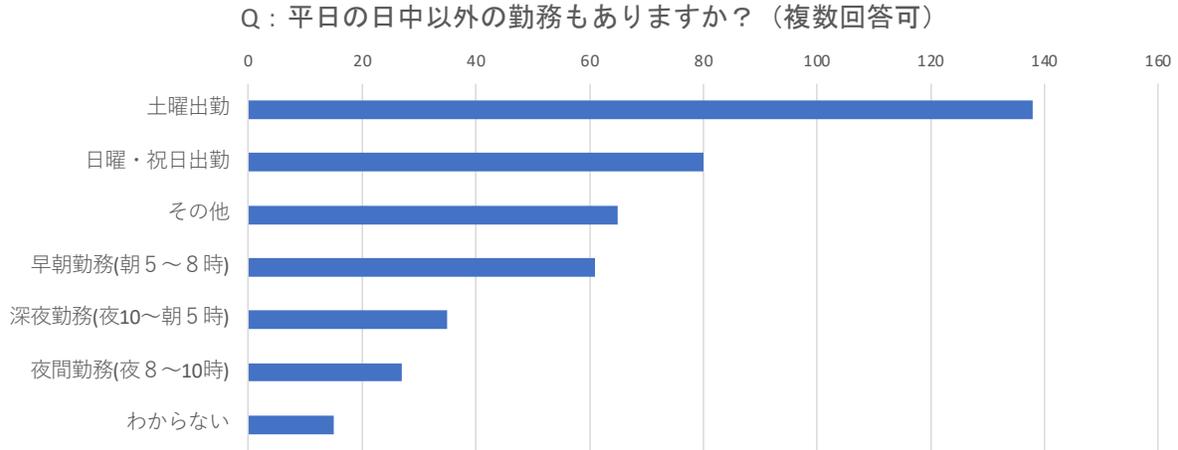


図 2-2-2 平日の日中以外の勤務

(3) 仕事（実習）をすると体が疲れるか

技能実習生に対し、仕事（実習）をするとどの程度体が疲れるかを尋ねたところ、図 2-2-3 に示すとおり、「少し疲れる」が最も多く 61%、次いで「かなり疲れる」が 24%、「全く疲れない」9%、「非常に疲れる」3%という結果であった。

Q：仕事（実習）をすると体が疲れますか？

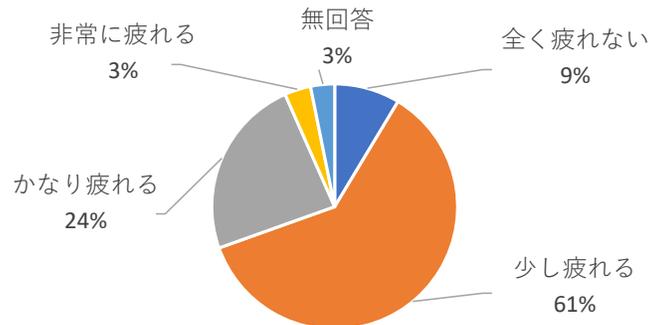


図 2-2-3 仕事（実習）における体の疲労感

2. 2. 3. 周りの人との関係について

(1) 身体の不調について頼れる人

自身の身体の不調について、相談にのってもらえる頼れる人がいるかを尋ねたところ、図 2-3-1 に示すとおり、9 割以上もの技能実習生がいると回答した。他方、いないと回答したのは 4%、そのことでは人に頼らないと回答したのは 2%であった。

いると回答した技能実習生にそれは誰かと尋ねところ、最も多かったのは職場の人であり、次いで知人・友人、家族・親族、監理団体の人と続いた。

Q：身体の不調について頼れる人はいますか？

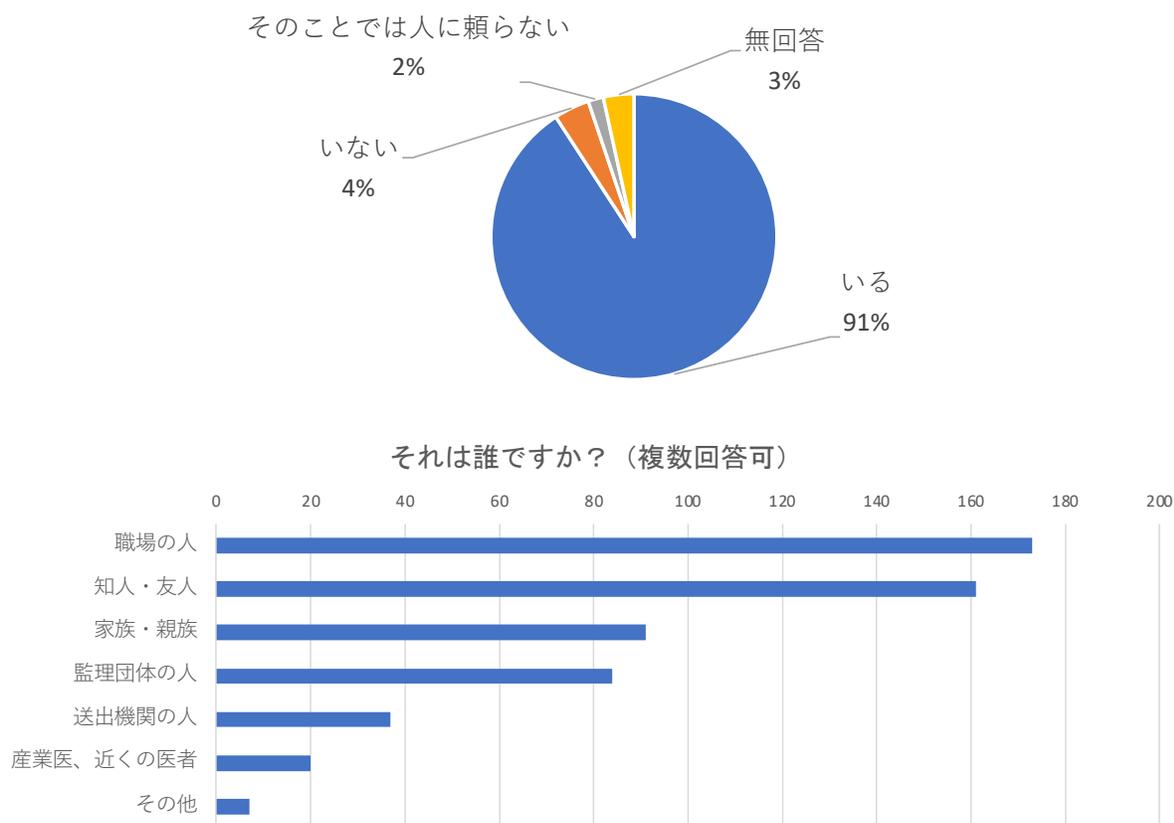


図 2-3-1 自身の身体の不調について、頼れる存在

(2) 本当に困った時のお金の援助について頼れる人

本当に困った時のお金の援助について、相談にのってもらえる頼れる人がいるかを尋ねたところ、図 2-3-2 に示すとおり、75%の技能実習生がいると回答した。他方、いないと回答したのは 11%、そのことでは人に頼らないと回答したのは 7%であった。

いると回答した技能実習生にそれは誰かと尋ねところ、圧倒的に多かったのは知人・友人であった。その次に多いのが家族・親族となっており、職場や監理団体の人と回答した技能実習生は身体の不調の場合に比べかなり少なかった。

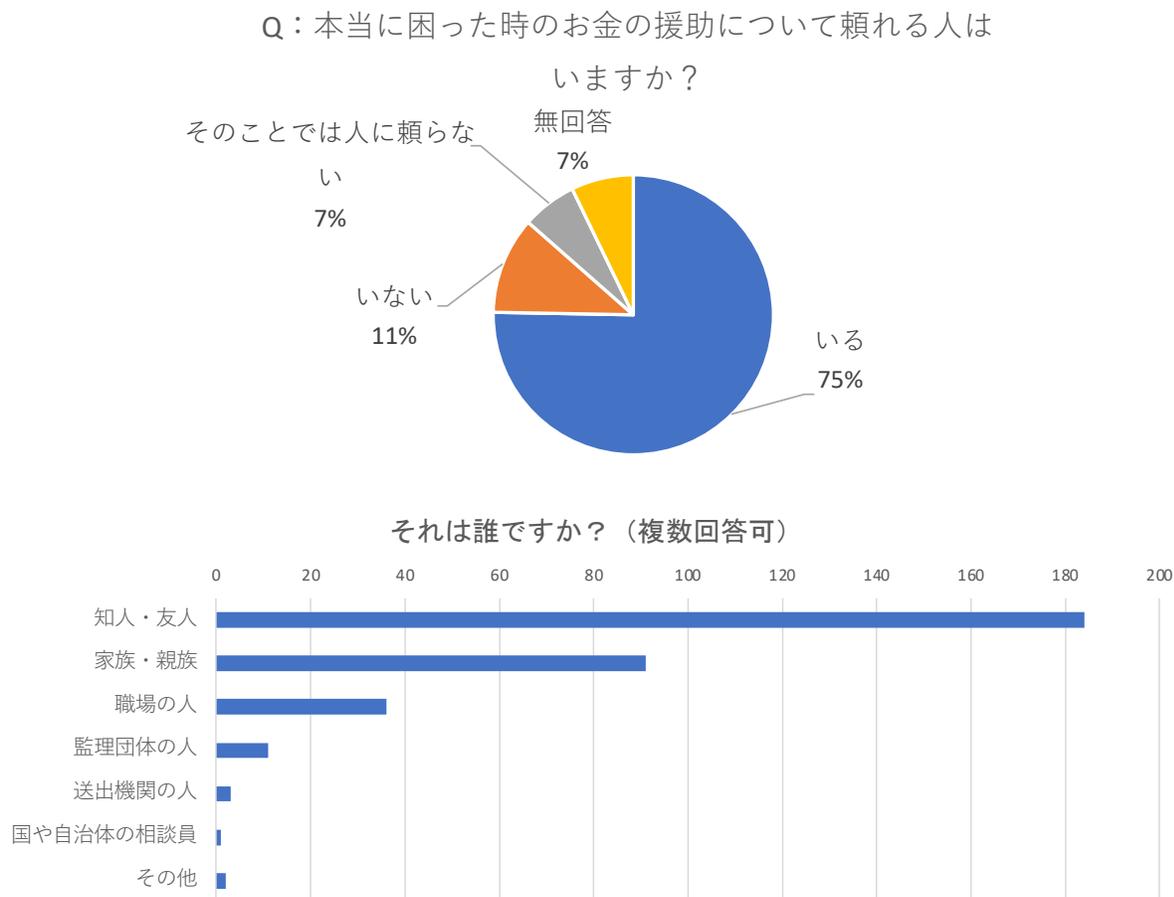


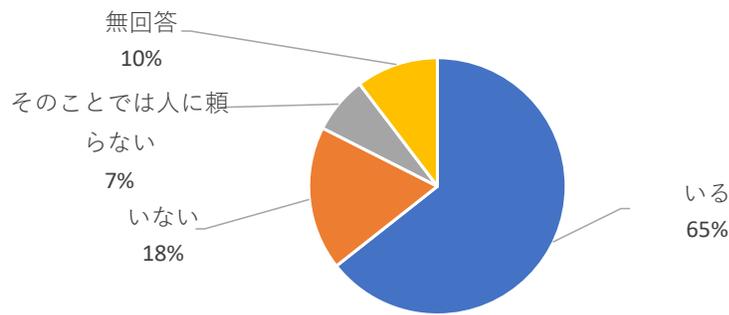
図 2-3-2 本当に困った時のお金の援助について、頼れる存在

(3) その他の大事なこと（結婚や将来の仕事等）について頼れる人

身体の不調やお金のこと以外の大事なことについて、相談にのってもらえる頼れる人がいるかを尋ねたところ、図 2-3-3 に示すとおり、65%の技能実習生がいると回答した。他方、いないと回答したのは18%、そのことでは人に頼らないと回答したのは7%であった。

いると回答した技能実習生にそれは誰かと尋ねところ、最も多かったのは家族・親族であり、次いで知人・友人であった。監理団体や職場の人と回答した技能実習生も一部いたが、身体の不調時と比べて少なかった。

Q：その他の大事なこと（結婚や将来の仕事等）について頼れる人はいますか？



それは誰ですか？（複数回答可）

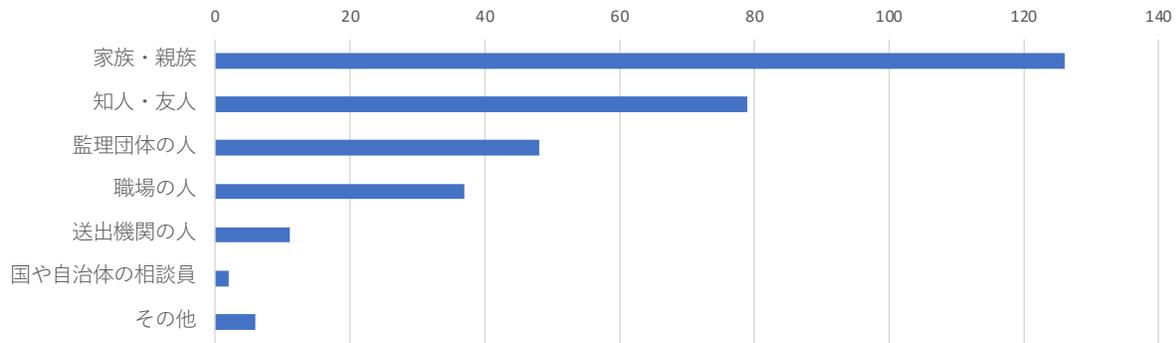


図 2-3-3 その他の大事なこと（結婚や将来の仕事等）について、頼れる存在

(4) 職場の人から受ける支援の満足度

日本で生活、実習する上で、職場の人から受ける支援に対する満足度を尋ねたところ、図 2-3-4 に示すとおり、44%が満足していると回答し、51%が普通と回答した。他方、あまり満足していないと回答したのは4%、満足していないは0%であり、職場の人から受ける支援については概ね満足しているようである。

Q：日本で生活、実習する上で、職場の人からの支援に満足していますか？

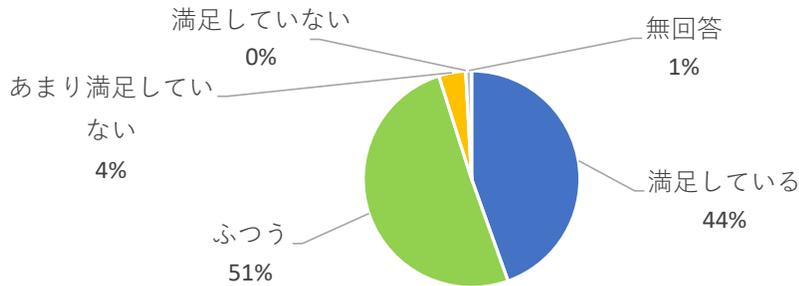


図 2-3-4 職場の人から受ける支援の満足度

(5) 監理団体の人から受ける支援の満足度

日本で生活、実習する上で、監理団体の人から受ける支援に対する満足度を尋ねたところ、図 2-3-4 に示すとおり、52%が満足していると回答し、44%が普通と回答した。他方、あまり満足していないと回答したのは2%、満足していないは0%であり、監理団体の人から受ける支援については概ね満足しているようである。

Q：日本で生活、実習する上で、監理団体の人からの支援に満足していますか？

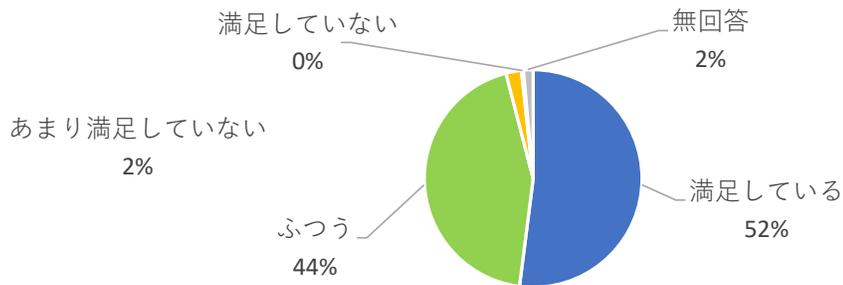


図 2-3-5 監理団体の人から受ける支援の満足度

2. 2. 4. 健康状況について

(1) 医療機関等の受診経験

技能実習生に対し、これまでに医療機関で診断されたり、治療を受けたりした病気やけがはあるか尋ねたところ、図 2-4-1 に示すとおり、あると回答したのは全体の 25%、ないと回答したのは 72%であった。

あると回答した技能実習生に対し、具体例を尋ねたところ、花粉症や水疱瘡、胃潰瘍、脳震盪の他、骨折、頭痛、腹痛、腰痛、肩や背中、手の痛み、新型コロナウイルスへの感染等が挙げられた。

Q：これまでに医療機関で診断されたり、治療を受けたりした病気やけがはありますか？

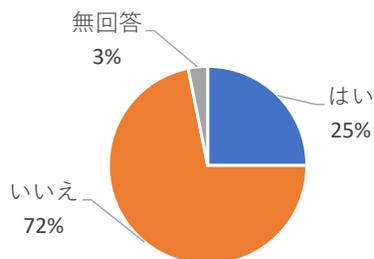


図 2-4-1 医療機関等の受診経験

(2) 過去 30 日間の健康状態について

技能実習生に対し、過去 30 日間を振り返って健康状態がどうだったかを尋ねたところ、図 2-4-2 に示すとおり、最高に良い 4%、とても良い 14%、良い 64%、あまり良くない 17%、良くない 1% であった。8 割強の技能実習生の直近の健康状態は良好であった。

Q：過去30日間を振り返ってみて、健康状態はどうでしたか？

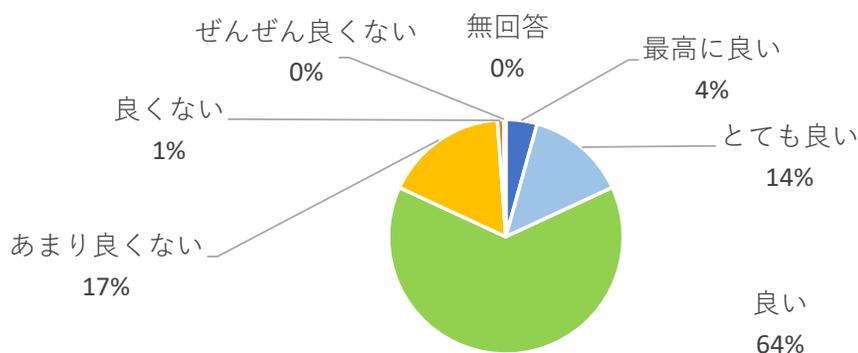


図 2-4-2 過去 30 日間の健康状態について

(3) 過去 30 日間の日常動作について

過去 30 日の間に、身体の不調で日常行う動作（歩いたり階段を昇ったり等）がうまくできなかったことはあるかを尋ねたところ、図 2-4-3 に示すとおり、全然なかったが

66%と最も多く、続いてわずかにあったが16%、少しあったが14%、かなりあったは2%、いつもあったは2%という結果となった。

Q：過去30日の間に、身体の不調で日常行う動作（歩いたり階段を昇ったり等）がうまくできなかったことはありますか？

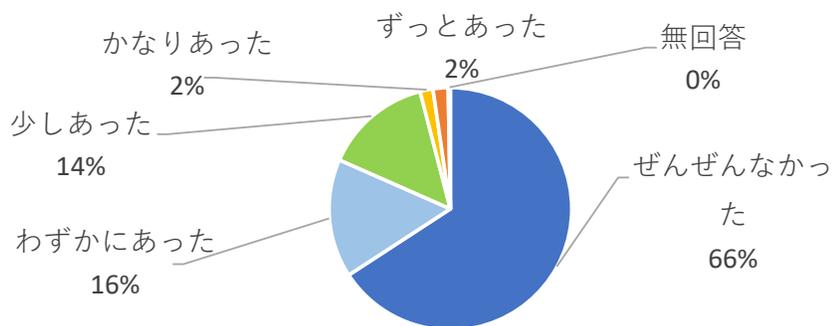


図 2-4-3 過去 30 日間の日常動作について

(4) 過去 30 日間の仕事（実習）について

過去 30 日の間に、いつもの仕事が身体の不調でうまくできなかったことはあるかと尋ねたところ、図 2-4-4 に示すとおり、全然なかったが 60%と最も多く、続いてわずかにあったが 24%、少しあったが 14%、かなりあったは 1%、ずっとあったは 0%という結果となった。

Q：過去30日の間に、いつもの仕事（実習）が身体の不調でうまくできなかったことはありますか？

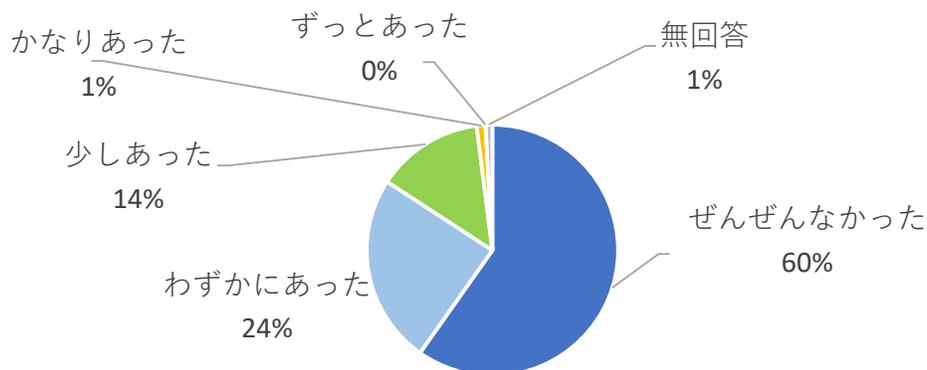


図 2-4-4 過去 30 日間の仕事（実習）について

(5) 過去 30 日間の体の痛みについて

過去 30 日の間に、体の痛みがどのくらいあったかを尋ねたところ、図 2-4-5 に示すとおり、全然なかったが 24%であったのに対し、75%は何らかの痛みを感じていた。痛みの程度で見ると、かすかな痛みが 32%で最も多く、続いて軽い痛み 27%、中くらいの痛み 14%、強い痛み 2%の順であった。

Q：過去30日の間に、体の痛みはどのくらいありましたか？

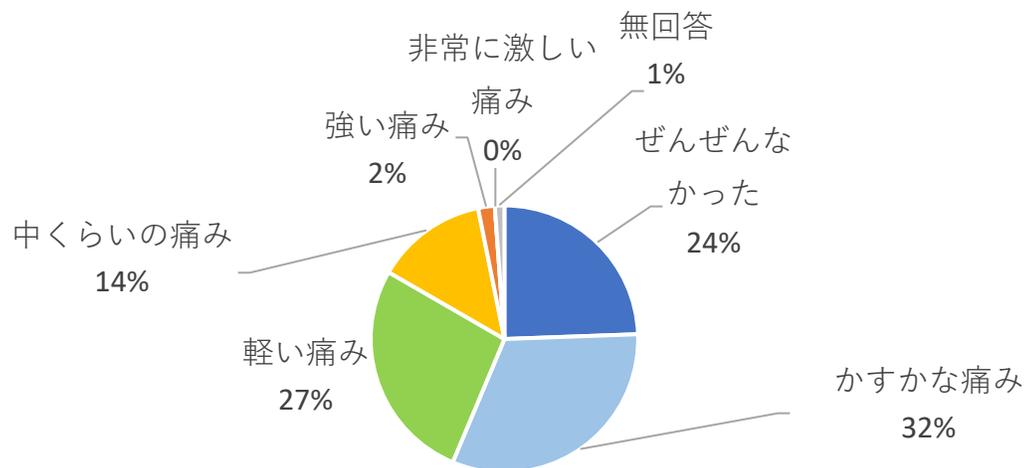


図 2-4-5 過去 30 日間の体の痛みについて

(6) 過去 30 日間の心理的な問題について

過去 30 日の間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）にどのくらい悩まされたかを尋ねたところ、図 2-4-6 に示すとおり、全然悩まされなかったが 37%であったのに対し、62%は何らかの心理的な問題があったと回答した。悩みの程度で見ると、わずかに悩まされたと少し悩まされたが 28%で最も多く、続いてかなり悩まされた 5%、非常に悩まされた 1%の順であった。

Q：過去30日の間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？

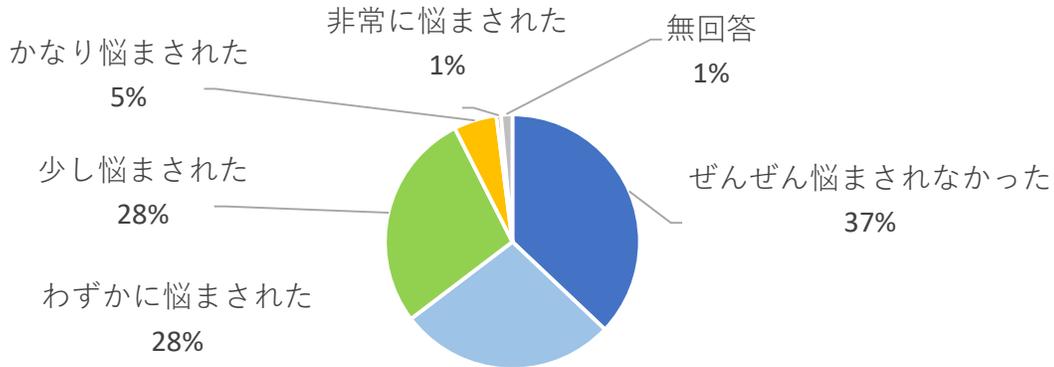


図 2-4-6 過去 30 日間の心理的な問題について

(7) 健康についての不安なことや心配事

技能実習生に対し、健康について不安なことや心配事があるか尋ねたところ、図 2-4-7 に示すとおり、あると回答したのは全体の 13% のみで、ないと回答したのは 84% であった。

あると回答した技能実習生に対し、具体例を尋ねたところ、頭痛や腹痛、腰痛、肩や背中、手の痛み等が挙げられた。

Q：健康について不安なことや心配事がありますか？

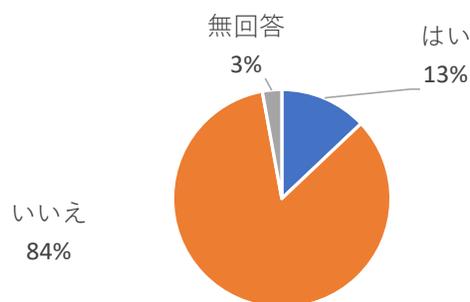


図 2-4-7 健康についての不安なことや心配事

(8) 健康相談のニーズ

技能実習生に対し、健康について無料で相談できる場所があったら利用したいかを尋ねたところ、図 2-4-8 に示すとおり、とても利用したいが最も多く 50%、次いでやや利用したいが 23%、あまり利用したくないが 12%、全く利用したくない 5%、わからないが 7% であった。

Q：健康について、無料で相談できる場所があったら
利用したいですか？

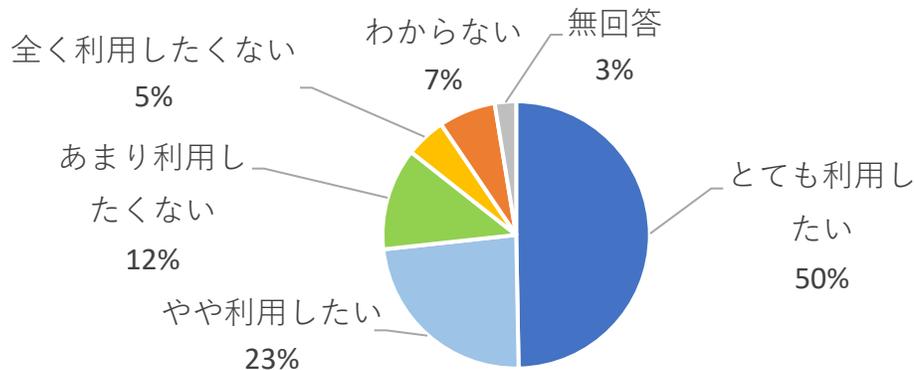


図 2-4-8 健康相談のニーズ

(9) 喫煙の有無

喫煙の有無について尋ねたところ、図 2-4-9 に示すとおり、15%がありと回答し、84%がなしと回答した。

Q：タバコを吸いますか？

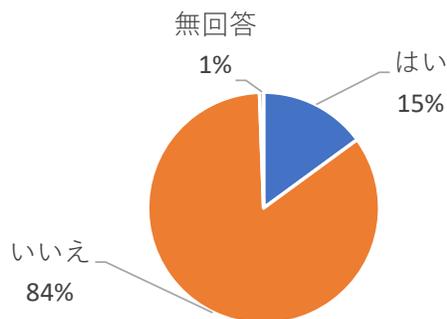
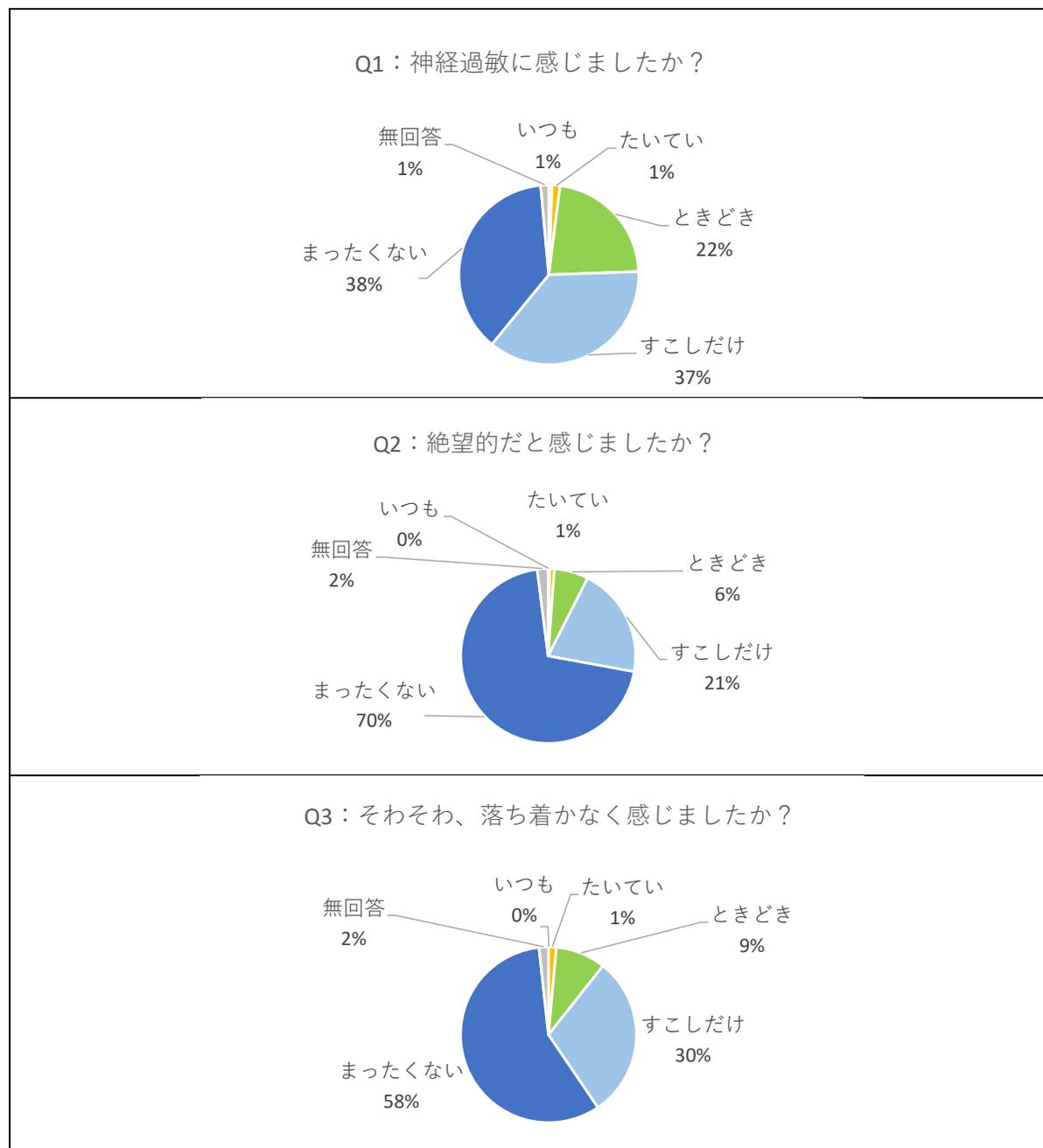


図 2-4-9 喫煙の有無

(10) 心の状態について

技能実習生の心の状態について、「神経過敏に感じたか?」、「絶望的だと感じたか?」、「そわそわ、落ち着かなく感じたか?」、「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じたか?」、「何をすることも骨折りだと感じたか?」、「自分は価値のない人間だと感じたか?」の6つを尋ねたところ、図 2-4-10 に示す結果となった。

「神経過敏に感じたか」を除く全てにおいて、「まったくない」が過半数を占めていた。



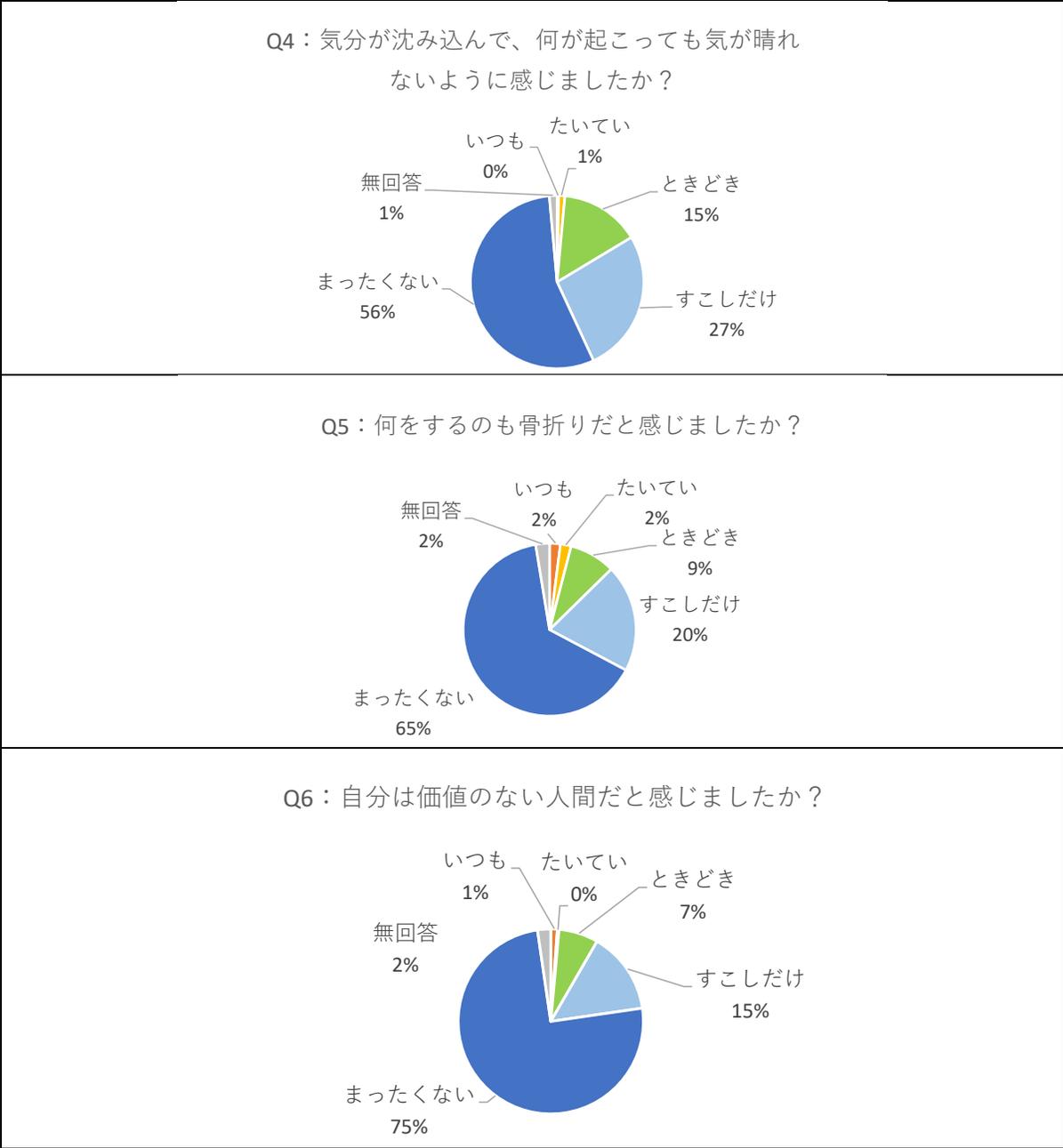


図 2-4-10 心の状態について

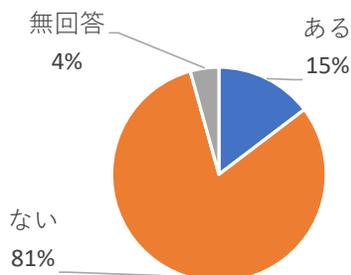
(11) 日本の医療機関を受診したかったけれど受診できなかったこと

日本に来てから、医療機関（病院・診療所）を受診したかったけれど受診しなかったことがあるか尋ねたところ、図 2-4-11 に示すとおり、15%があると回答し、81%がないと回答した。

あると回答した技能実習生に、その理由を尋ねたところ、「日本の医療機関のことをよく知らない」が最も多く、次いで「医療費の支払いが心配だった」と「日本語が話せない」が同数で多かった。その他、「医療機関に連れて行ってくれる人がいなかった」

や「忙しくて医療機関に行く時間がなかった」、「市販の薬や国から持参した薬で良くなった」等の回答があった。

Q：日本に来てから、医療機関（病院・診療所）を受診したかったけれど受診しなかったことはありますか？



受診しなかった理由（複数回答可）

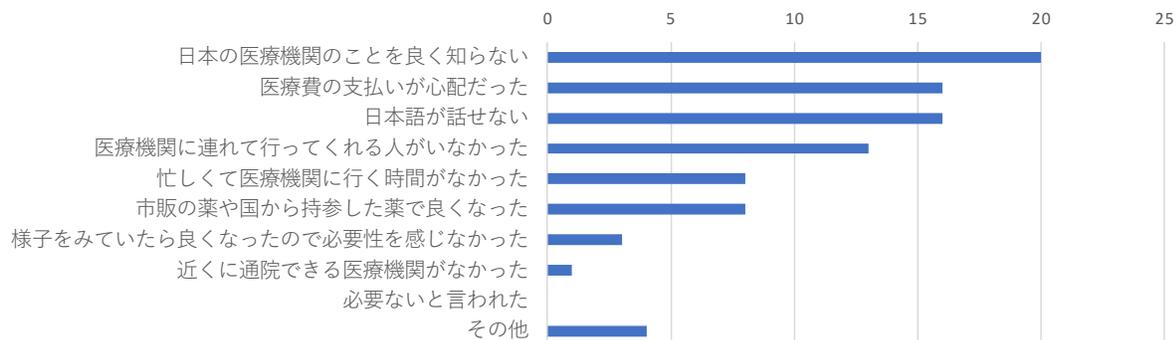


図 2-4-11 日本の医療機関を受診したかったけれど受診できなかったこと

(12) 過去1年間の健康診断受診

過去1年間に健康診断を受けたか否かを尋ねたところ、図 2-4-12 に示すとおり、93%が受けたと回答し、6%が受けていないと回答した。

実習実施者への調査では、無回答の3%を除く全ての実習実施者において健康診断が問題なく実施できているとの結果であったため、入国や健康診断の実施タイミングによりちょうど1年前とならなかったものも含まれていると考えられる。

Q：過去1年の間に健康診断を受けたか？

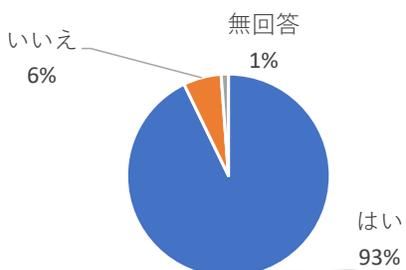


図 2-4-12 過去1年間の健康診断受診

(13) 健康診断結果の受領

健康診断の結果を毎回もらっているか尋ねたところ、図 2-4-13 に示すとおり、96%が毎回受領し、3%がそうではないと回答した。

Q：健康診断の結果は、毎回もらっているか？



図 2-4-13 健康診断結果の受領

(14) 健康診断結果の説明

健康診断の結果について説明を受けたかを尋ねたところ、図 2-4-14 に示すとおり、75%が説明を受けたと回答し、22%が受けていないと回答した。

Q：健康診断の結果について、説明を受けたか？

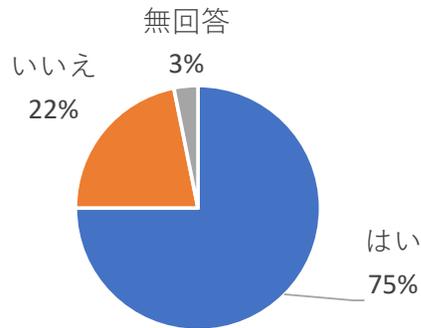


図 2-4-14 健康診断結果の説明

(15) 健康診断結果の理解度

健康診断の結果はよく理解できたか、その理解度を尋ねたところ、図 2-4-15 に示すとおり、「よくわかった」が 27%、「だいたいわかった」が 58%となり、合計 85%は概ね理解できたと回答した。他方、「あまりわからなかった」は 11%、「まったくわからなかった」は 3%であった。

Q：健康診断の結果はよく理解できたか？

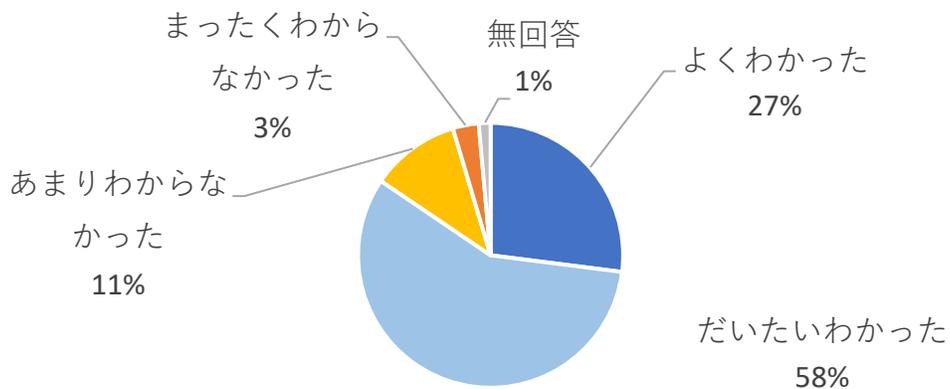


図 2-4-15 健康診断結果の理解度

(16) 医療、健康に関する情報の収集方法

医療や健康に関する情報をどのように収集するかを尋ねたところ、図 2-4-16 に示すとおり、職場の人からが圧倒的に多かった。次いで、Facebook、知人・友人、親・親族、監理団体の人、YouTube、産業医・近くの医者、国や自治体のホームページ等の方法が見られた。

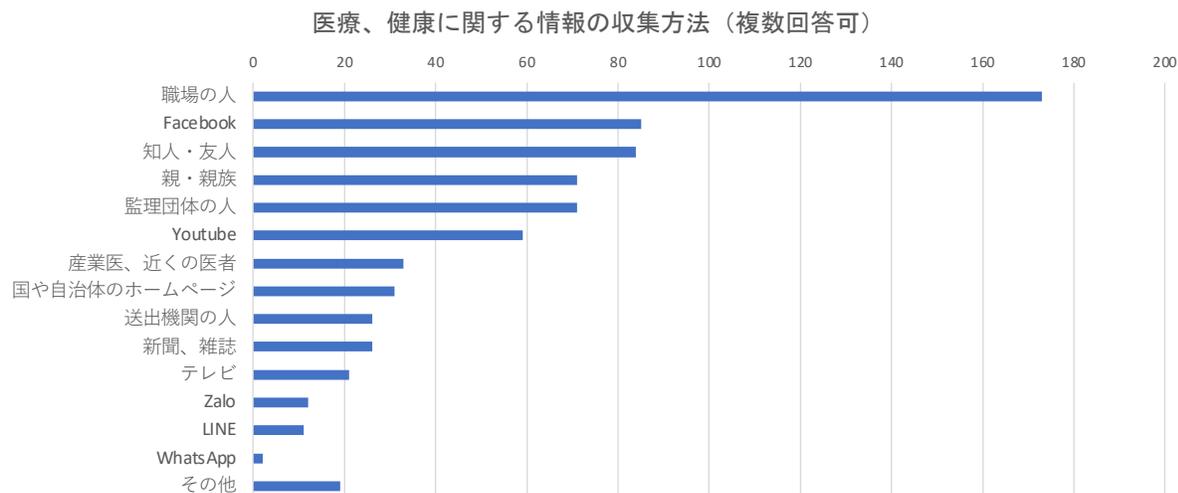


図 2-4-16 医療、健康に関する情報の収集方法

2. 2. 5. 現在の暮らしについて

(1) 自分専用部屋の有無

技能実習生の住まいについて、自分専用の部屋があるかを尋ねたところ、図 2-5-1 に示すように、あると回答したのが全体の 57%、ないと回答したのが 41%であった。

Q：住まいについて、自分専用の部屋はありますか？

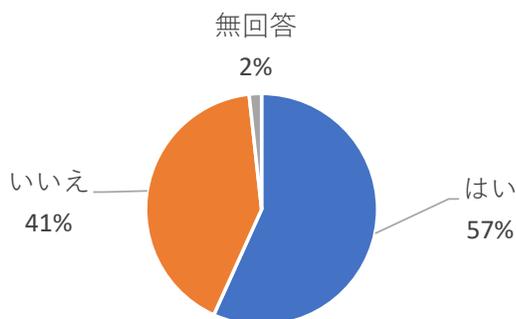


図 2-5-1 自分専用部屋の有無

(2) 報酬への満足度

自分の労働に対して、受け取っている報酬額に満足しているかを尋ねたところ、図 2-5-2 に示すように、「満足している」が 22%、「ふつう」が 55%であり、合計 77% は不満を感じていなかった。他方、「あまり満足していない」が 16%、「満足していない」も 5%あった。

Q：自分の労働に対し、受け取っている報酬額に満足していますか？

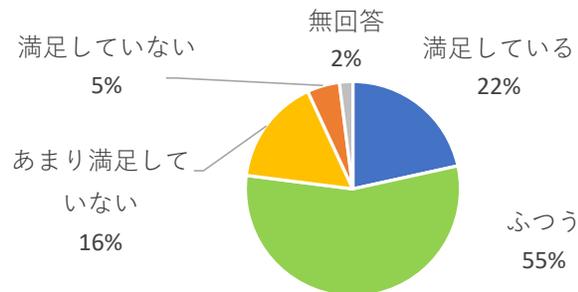


図 2-5-2 報酬への満足度

(3) 仕送りの状況

母国の家族等に毎月平均どの程度仕送りをしているかを尋ねたところ、図 2-5-3 に示すように、最も多かったのは「7万円以上」で 39%あった。「仕送りなし」1%と「無回答」5%を除く 94%が仕送りをしていた。

Q：毎月平均どの程度仕送りをしていますか？

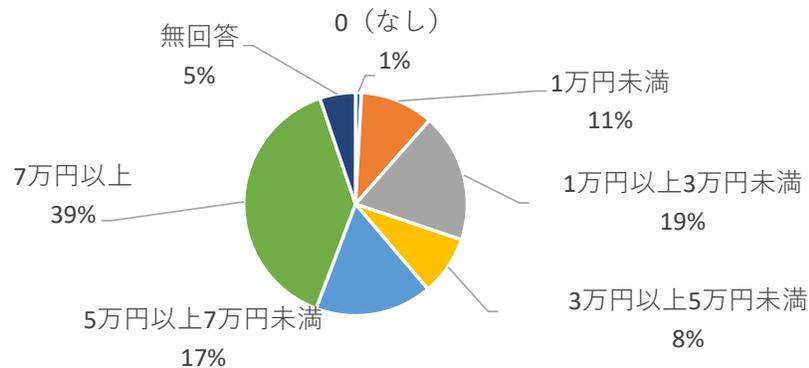


図 2-5-3 仕送りの状況

(4) 現在の暮らしの経済的状況

現在の暮らしの経済的状況をどのように感じているか尋ねたところ、図 2-5-4 に示すように、最も多かったのは「普通」であり 65%あった。次いで「やや苦しい」が 21%、「ややゆとりがある」8%、「大変苦しい」3%、「大変ゆとりがある」1%の順に多かった。94%が仕送りをする中でも 74%は現在の暮らしを特に苦しいとは感じていなかった。

Q：現在の暮らしの経済的状況をどのように感じていますか？

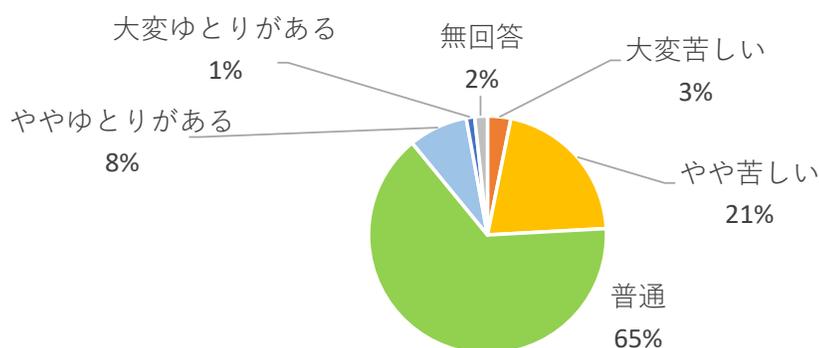
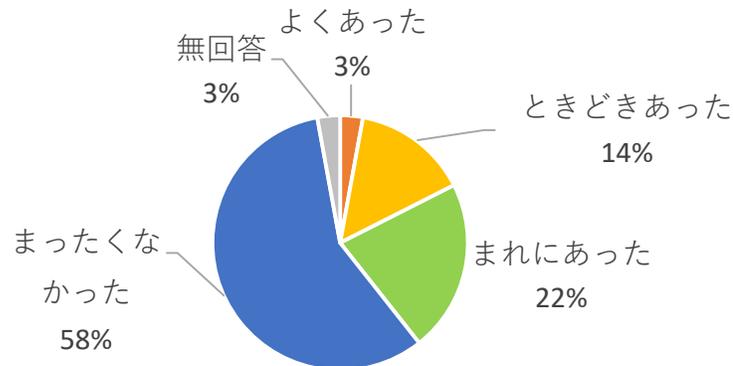


図 2-5-4 現在の暮らしの経済的状況

(5) 必要な食料や衣料が買えなかった経験

過去1年の間に、経済的な理由で必要な食料や衣料（嗜好品は含まない）が買えなかったことがあったかを尋ねたところ、図 2-5-5 に示すように、食料と衣料とで大きく変わらず、最も多かったのは「まったくなかった」でありそれぞれ 58%、57%であった。次いで「まれにあった」（22%と 23%）が 2 番目に多く、「ときどきあった」（14%と 13%）、「よくあった」（ともに 3%）の順で多かった。

Q：過去1年の間に、経済的な理由で必要とする食料が
買えなかった経験はありますか？



Q：過去1年の間に、経済的な理由で必要とする衣料が
買えなかった経験はありますか？

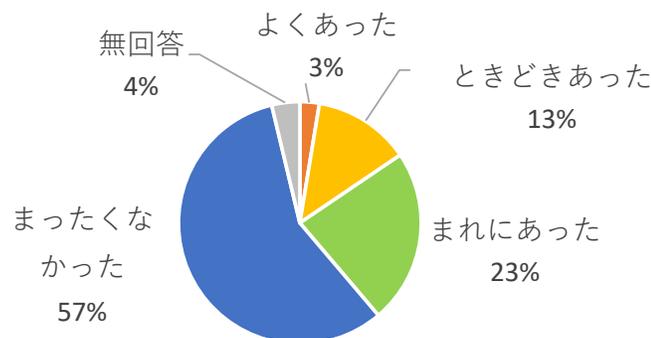


図 2-5-5 必要な食料や衣料が買えなかった経験

(6) 食料品の買い物について

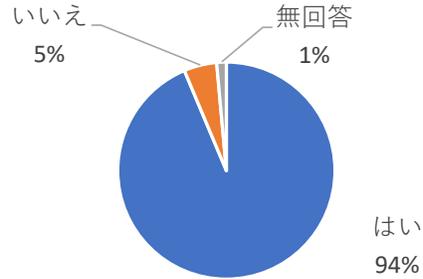
食料品の買い物について、買い物ができるお店が近くにあるか、お店には自分たちだけで行けるか、自分の買いたい食材は手に入るかの3点を尋ねたところ、図 2-5-6 に示す結果となった。

買い物ができるお店が近くにあるかという質問に対して、あると回答したのが94%、ないと回答したのが5%であった。

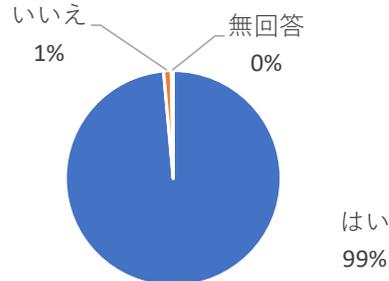
お店は自分たちで行けるかという質問に対しては、行けると回答したのが99%、行けないと回答したのは1%のみであった。行けないと回答した技能実習生は全て、週に1回は誰かが買い物に連れて行ってくれるとのことであった。

自分たちの買いたい食材が手に入るかという質問に対しては、「十分ある」が59%、「だいたいある」が31%で合計90%に達しており、概ね入手できているようであった。他方、9%は「あまりない」と回答した。

Q1：買い物ができるお店が近くにありますか？



Q2：お店は自分たちだけで行けますか？



Q3：自分たちの買いたい食材は手に入りますか？

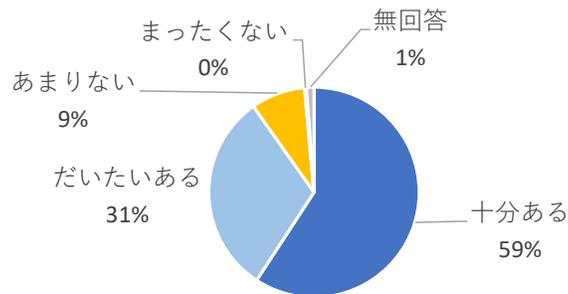


図 2-5-6 食料品の買い物について

(7) 冷蔵庫の有無

家に冷蔵庫があるかを尋ねたところ、図 2-5-7 に示すように、全員があると回答した。

Q：家に冷蔵庫はありますか？

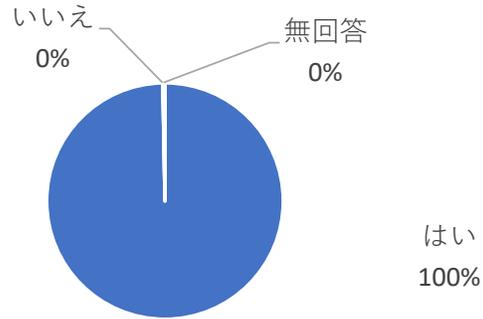


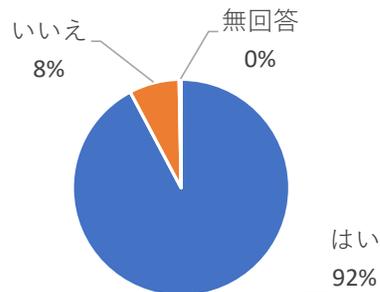
図 2-5-7 冷蔵庫の有無

(8) 食生活について

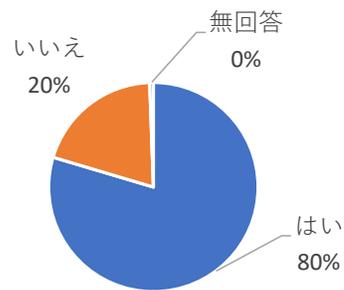
食生活について、野菜や果物、肉や魚、乳製品をできるだけ摂るようにしているかを尋ねたところ、図 2-5-8 に示す結果となった。

できるだけ摂るようにしていると回答したのは、野菜と果物については 92%、肉や魚については 80%、乳製品については 71%であった。

Q1：野菜や果物をできるだけ食べるようにしていますか？



Q2：肉や魚をできるだけ食べるようにしていますか？



Q3：乳製品をできるだけ摂るようにしていますか？

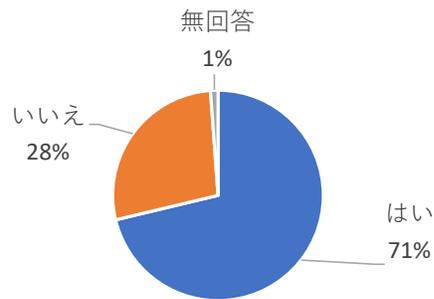


図 2-5-8 食生活について

(9) 定期的な運動の有無

定期的な運動をしているかを尋ねたところ、図 2-5-9 に示すように、全体の 53% がしていると回答した。

定期的な運動をしていると回答した技能実習生に、具体的に何をしているかを尋ねたところ、ウォーキングやジョギング、サイクリング、腕立て伏せ、ヨガ等が挙げられた。

Q：定期的に運動をしていますか？

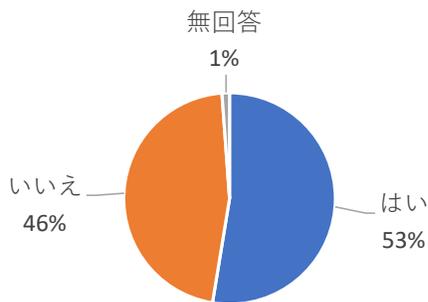


図 2-5-9 定期的な運動の有無

2. 2. 6. 社会保険制度について

(1) 健康保険について

健康保険に加入しているかを尋ねたところ、図 2-6-1 に示すように、98%が加入していると回答した。残りは加入していないが1%、無回答が1%であった。

Q：健康保険に加入していますか？

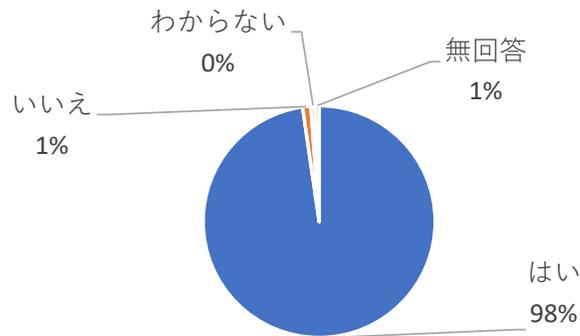
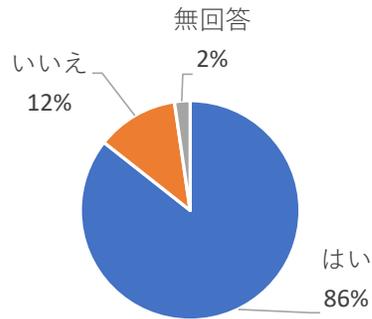


図 2-6-1 健康保険について

(2) 労災保険について

労災保険を知っているか尋ねたところ、図 2-6-2 に示すように、86%が知っていた。また、会社が必ず加入していることについても同様に 85%が知っているとは回答した。

Q1：労災保険を知っていますか？



Q2：労災保険は会社が必ず加入していることを知っていましたか？

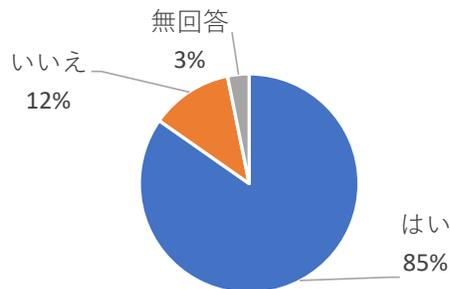


図 2-6-2 労災保険について

3. 外国人技能実習生の健康に関する実態把握のためのアンケート調査（受入れ企業向け）

3. 1. 調査の概要

本調査は以下のとおり実施した。

目的	技能実習生がより健康に過ごせるよう、環境整備をするための基礎資料を得ることを目的に本調査を実施。
実施時期	2021年8月～10月
調査対象	当団体が監理する実習実施者
調査方法	紙によるアンケート調査
回収数	64事業所

3. 2. 結果

3. 2. 1. 回答した実習実施者等について

(1) 全従業員数

回答があった事業所を従業員数で区分すると、図1に示すとおり、従業員数1～20名の事業所が全体の28%、21～50名が24%、51～100名が14%、101～200名が14%、201名以上が20%であった。

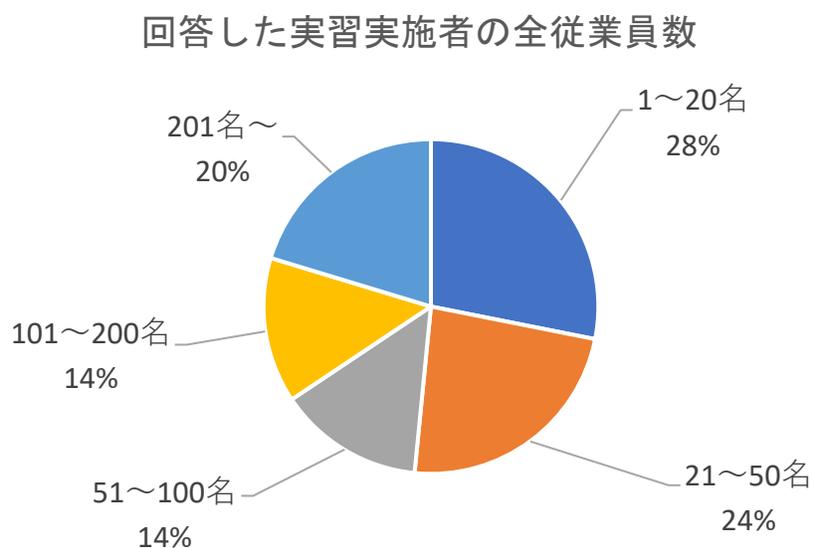


図 3-1-1 回答した実習実施者の全従業員数

(2) 外国人従業員数

回答があった事業所の外国人従業員数について尋ねたところ、図2に示すように、1～2名の事業所が最も多く全体の42%、3～5名が22%、6～10名が16%、11～50名が19%、51名以上が1%であった。

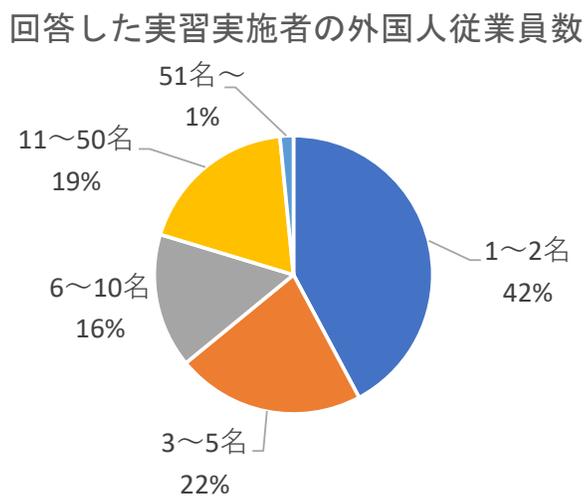


図 3-1-2 回答した実習実施者の外国人従業員数

(3) 技能実習生の業務内容

回答があった事業所における技能実習生の業務内容で区分すると、図3に示すとおり、「生産/製造/施工関連」業務が最も多く全体の69%、次いで「接客/ケア」業務が22%、その他6%、無回答3%であった。

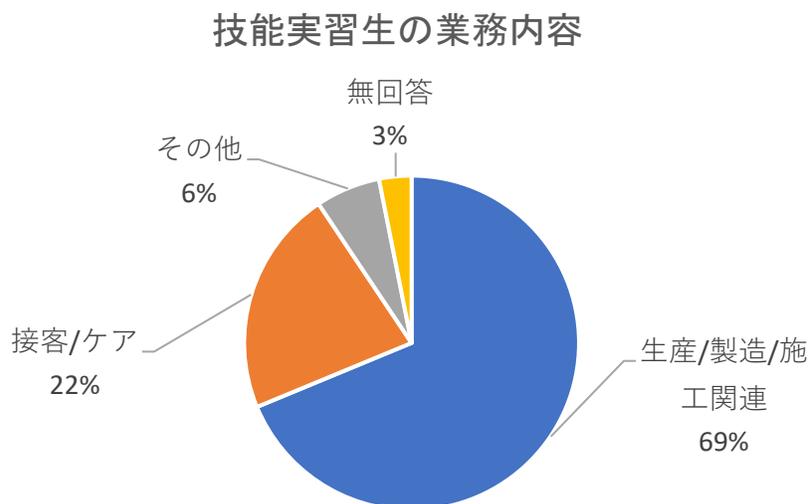


図 3-1-3 対象事業所で実習する技能実習生の業務内容

(4) 外国人技能実習生総合保険への加入状況

回答があった事業所のうち、外国人技能実習生総合保険に加入しているのは、図4に示すとおり78%、未加入は11%であった（残り11%は本質問に回答なし）。

外国人技能実習生総合保険への加入

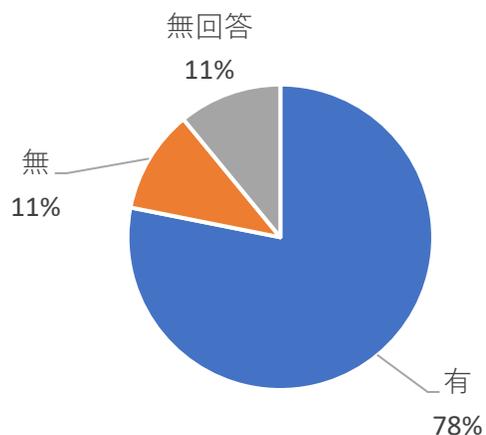


図 3-1-4 外国人技能実習生総合保険への加入状況

3. 2. 2. 普段、技能実習生の健康について気をつけていること

普段、技能実習生の健康について、特に気をつけていることや指導していることがあるかを尋ねたところ、図5に示すとおり、あると回答したのは全体の91%であった。

あると回答した事業所にその具体例を尋ねたところ、コロナ禍も反映して毎日の体温測定が最も多く、次いで十分な睡眠・休養をとること、栄養・食事のバランスや3食摂ること、（特に夏場）水分・塩分を補給すること、毎日の体調観察、手洗いや衛生面での指導、衛生用品の支給等が挙げられた。

Q：普段、技能実習生の健康について、特に気をつけていることや指導していることはありますか？

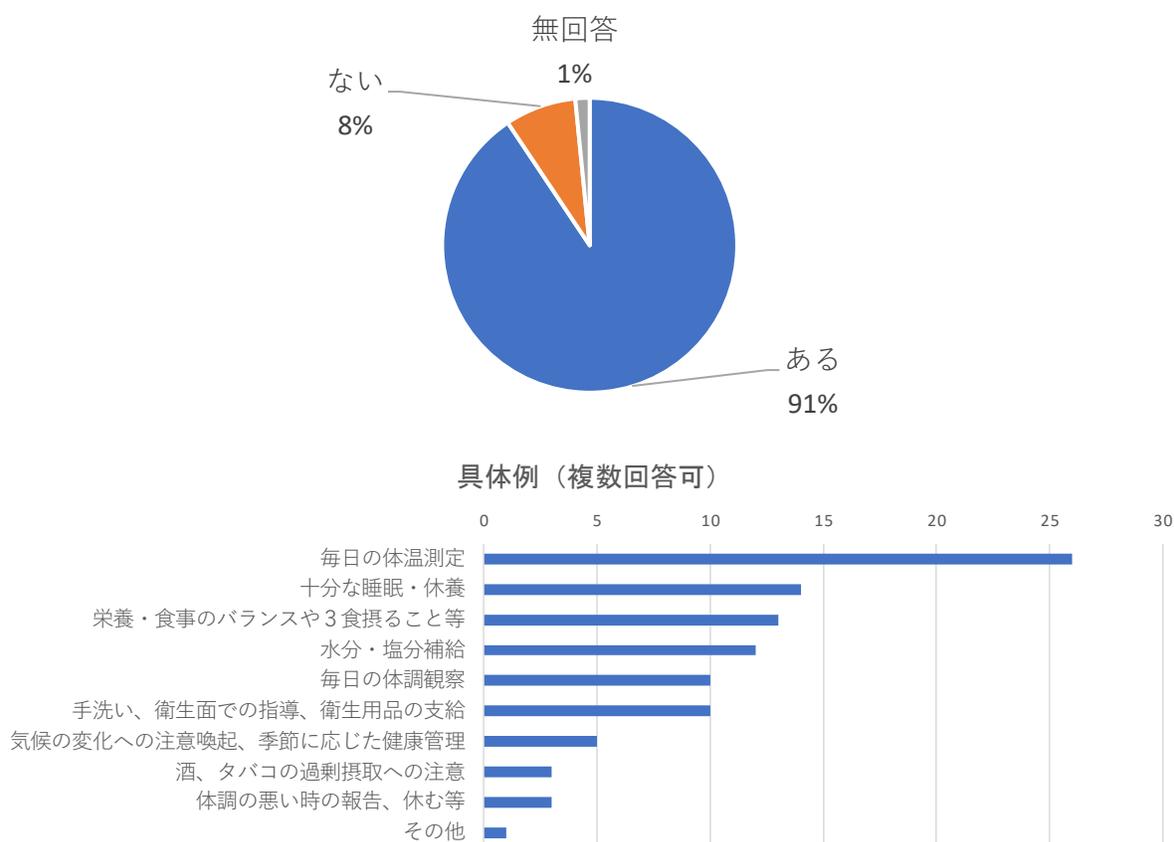


図3-2-1 普段、技能実習生の健康について気をつけていることや指導していることの有無と具体例

3. 2. 3. 技能実習生が健康を害するような環境の存在に気づく仕組み

技能実習生が健康を害するような環境の存在にいち早く気づく仕組みがあるかを尋ねたところ、図6に示すとおり、あると回答したのが全体の92%であった。

あると回答した事業所にその具体例を尋ねところ、欠勤・体調不良時の連絡体制や面会が最も多く、次いで実習の現場での観察と現場責任者等による報告・事務職員も含めた情報共有、毎日の声かけや挨拶・会話、出勤時の体調・健康状態の確認や本人・同僚からの意見を聞く体制等、毎日の業務や生活等の中で気づくことができる仕組みが多かった。

その他、定期的な自宅訪問や安全衛生委員会による工場の巡回等の取り組みも見られた。

Q：技能実習生が健康を害するような環境の存在にいち早く気づくような仕組みがありますか？

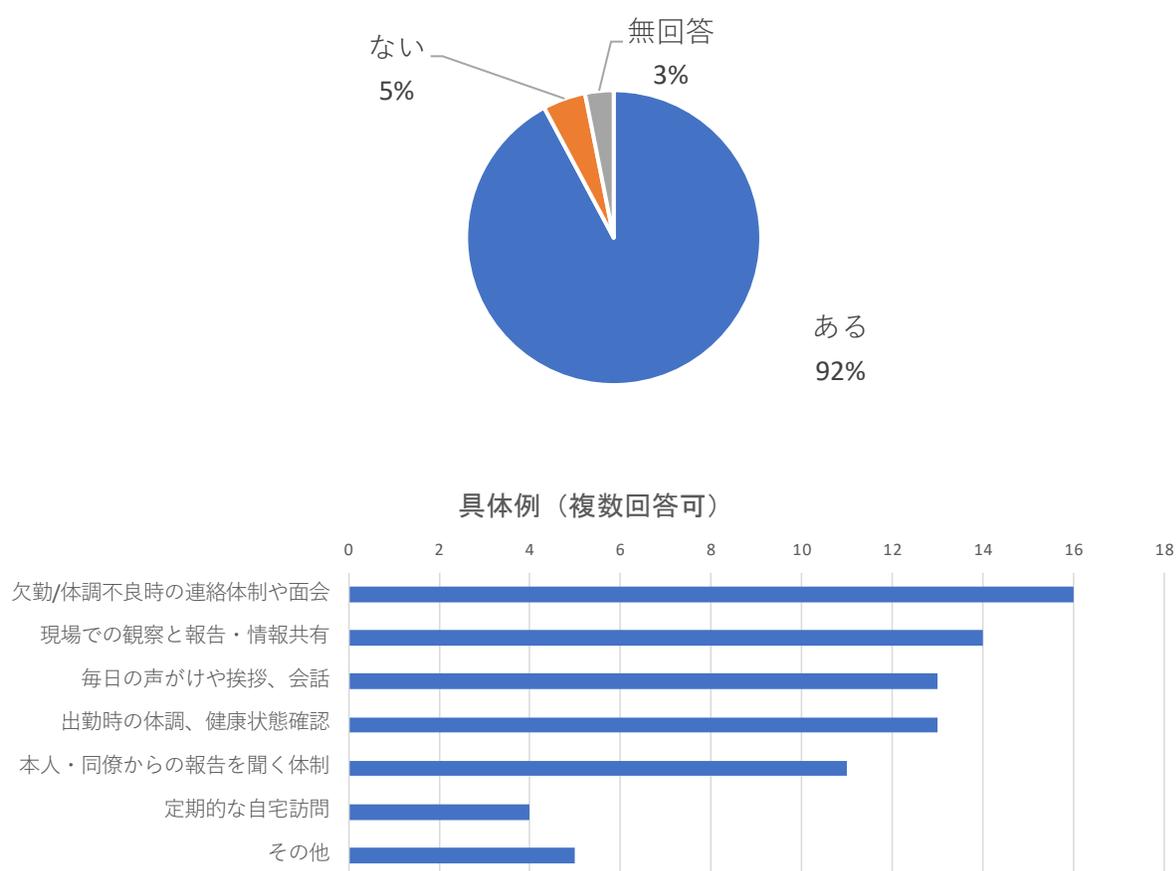


図 3-3-1 技能実習生が健康を害するような環境の存在に気づく仕組みの有無と具体例

3. 2. 4. 技能実習生の健康に関連して行なった支援

技能実習生の健康に関連して、技能実習生に対して何らかの支援を行なったことがあるかを尋ねたところ、図 7 に示すとおり、あると回答したのは全体の 91%であった。

あると回答した事業所にその具体例を尋ねところ、病院やワクチン接種会場等への送迎や付き添いがほとんどであった。その他として、薬品や食料、体温計、カイロ等の支給や体調不良時の休養勧奨・シフト調整・身の回りの世話、意識的に一緒に運動や食事をする等の事例があった。

Q：技能実習生の健康に関連して、技能実習生に対して何らかの支援を行ったことがありますか？

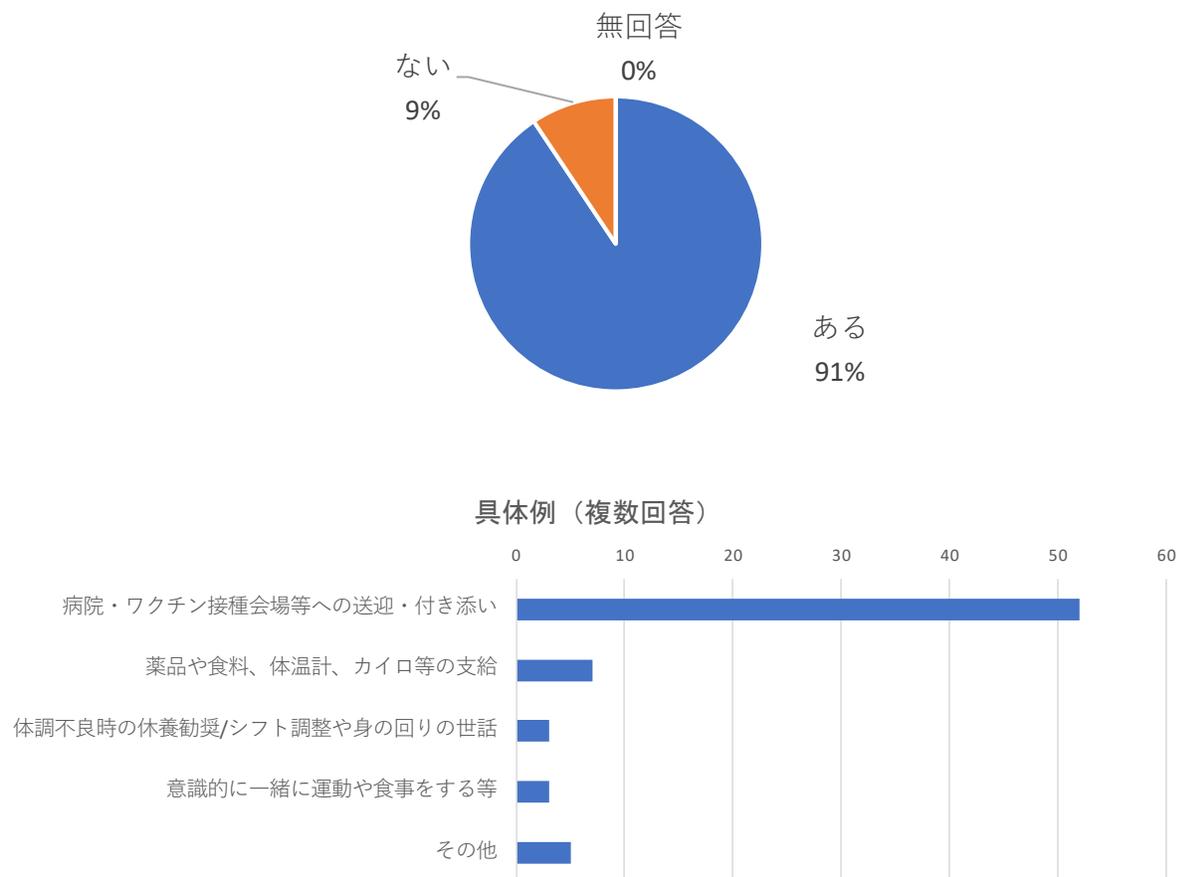


図 3-4-1 技能実習生の健康に関連して行なった支援の有無と具体例

3. 2. 5. 技能実習生の健康に関連する課題・ニーズ

(1) 技能実習生の健康に関して困っていること

技能実習生の健康に関して困っていることを尋ねたところ、図 8 に示すように、回答者の約半分は特に無いと回答した。

他方、あるという回答者においては、医療や健康に関することを日本語で意思疎通しようとしても難しいこと、気温等の環境変化や過度な飲酒等による体調不良と欠勤、体

調不良にも関わらず、実習を休みたくないため報告せずに出勤すること等が困っていることとして挙げられた。

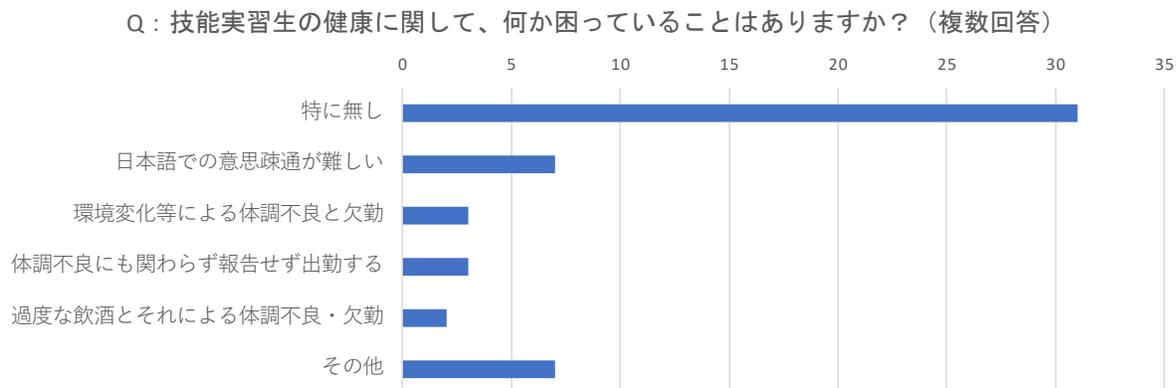


図 3-5-1 技能実習生の健康に関して困っていること

（２）監理団体や外部の専門機関等に支援を依頼できる場合に希望する支援

監理団体や外部の専門機関等に支援を依頼できる場合、どのような支援を希望するかについて尋ねたところ、図 9 に示すように、通訳が最も多かった。これは図 8 の「日本語での意思疎通が難しい」という現状を反映したものとと言える。技能実習生の日本語能力水準が比較的高い場合、自ら医療機関へ通うことも可能で、必ずしも通訳が必要というわけではないが、入院等の緊急時における医療従事者との意思疎通には通訳が必要との回答もあった。

次いで、病院への付き添い、健康相談・メンタル面での相談等の支援が挙げられた。

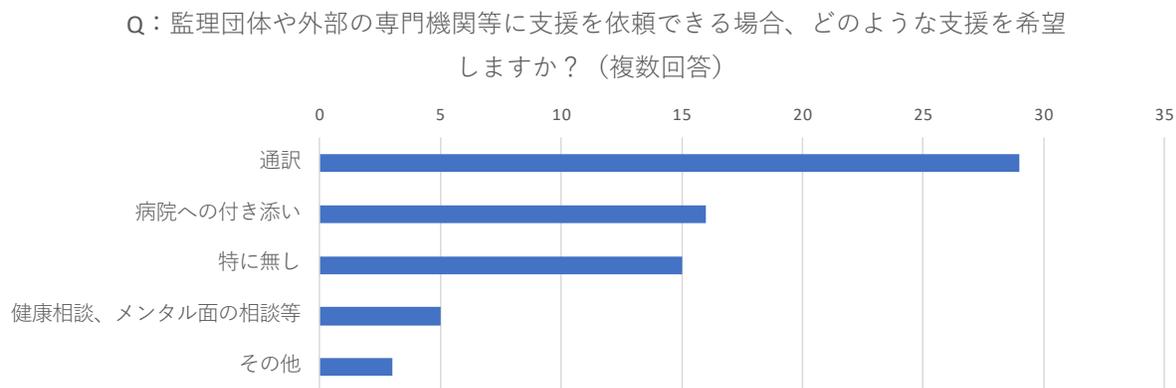


図 3-5-2 監理団体や外部の専門機関等に支援を依頼できる場合に希望する支援

3. 2. 6. 健診結果の活用

(1) 毎回の技能実習生の健康診断

技能実習生の健康診断が毎回問題なく実施できているかを尋ねたところ、図 10 に示すように、無回答の 3%を除く全ての事業所が問題なく実施できているとの回答であった。

Q：技能実習生の健康診断は毎回、特に問題なく実施できていますか？

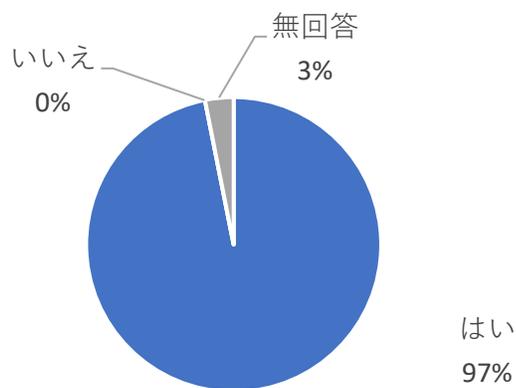


図 3-6-1 毎回の技能実習生の健康診断

(2) 健康診断結果の渡し方

技能実習生の健康診断結果がどのように技能実習生の手元に届くかを尋ねたところ、図 11 に示すように、ごく一部で健康診断の実施機関から直接技能実習生に郵送される等があったものの、ほとんどが事業所の日本人職員による手渡しであった。

Q：健康診断の結果は、どのように技能実習生の手元に届きますか？

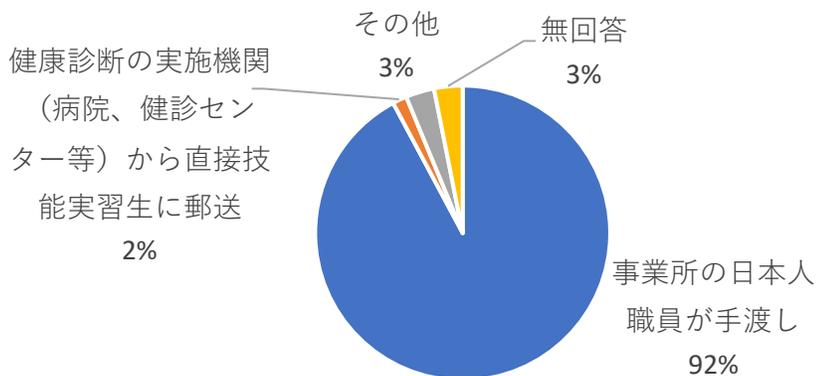


図 3-6-2 健康診断結果の渡し方

（3）健康診断結果の言語

健康診断の結果が何語で書かれているかを尋ねたところ、図 12 に示すように、1 事業所でベトナム語との回答があった他は全て日本語であった。

Q：健康診断の結果は何語で書かれていますか？

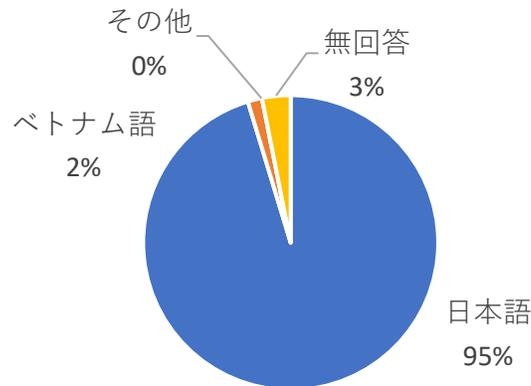


図 3-6-3 健康診断結果の言語

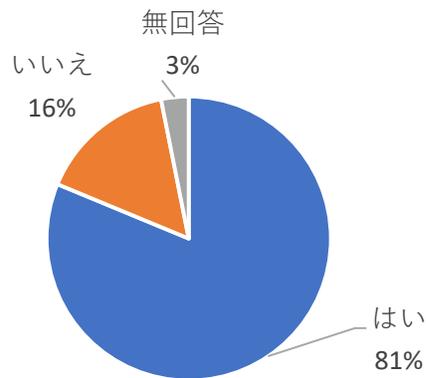
（4）健康診断結果の伝達

健康診断の結果を技能実習生に伝えているかどうかを尋ねたところ、図 13 に示すように、全体の 81% が伝えていると回答し、16% が伝えていないと回答した。

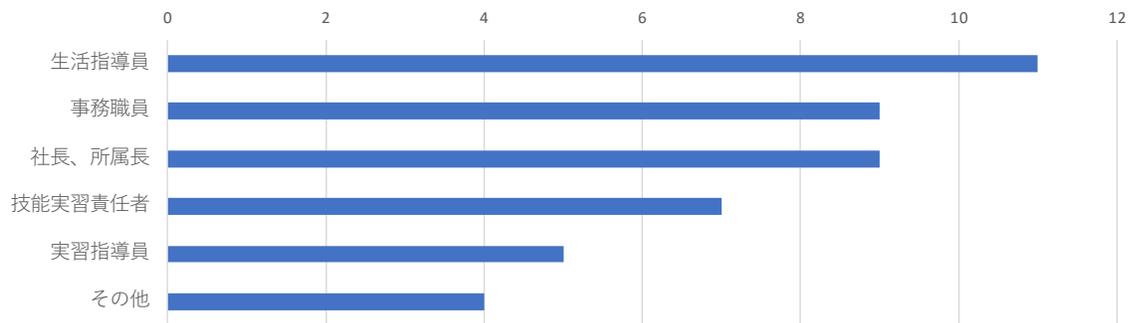
伝えている場合に誰が伝えているかを確認したところ、最も多かったのが生活指導員で、次いで総務等の事務職員か社長もしくは所属長、技能実習責任者、技能実習指導員の順に多かった。

さらに、伝えている場合に何語で伝えているかを確認したところ、ごく一部でベトナム語や英語という回答も見られたが（翻訳アプリの使用も含む）、大半は日本語での説明であった。

Q：健康診断の結果を技能実習生へ伝えていますか？



Q：誰が伝えていますか？（複数回答）



Q：何語で伝えていますか？（複数回答）

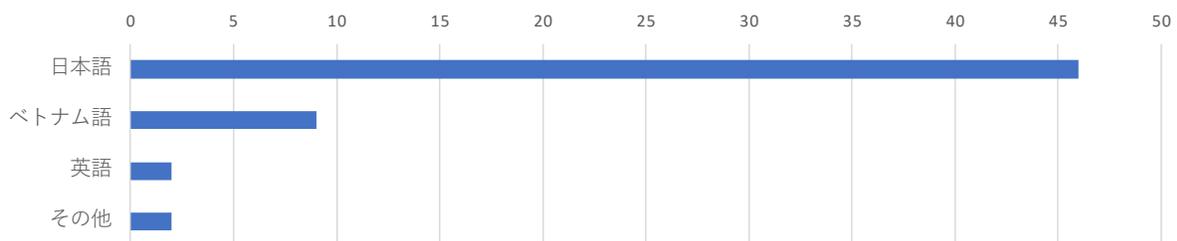


図 3-6-4 健康診断結果の伝達

（5）健康診断結果の事業所としての確認

技能実習生の健康診断の結果を事業所として確認するか否かを尋ねたところ、図 14 に示すように、88%が確認すると回答し、6%は確認しないと回答した。無回答は6%であった。

Q：健康診断の結果を事業所として確認しますか？

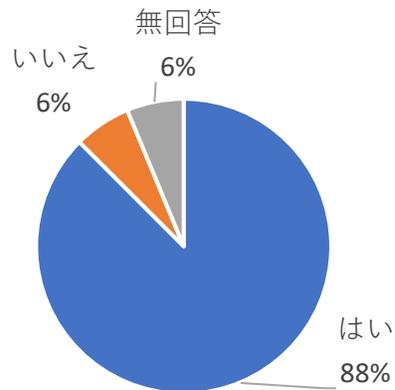


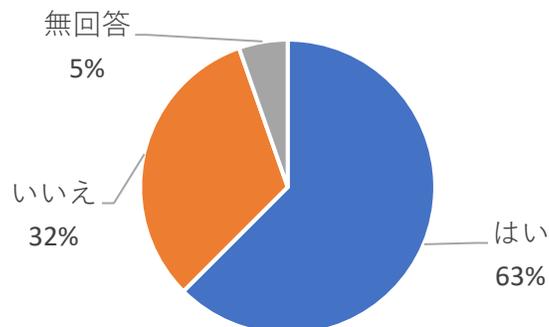
図 3-6-5 健康診断結果の事業所としての確認

A) 健康診断結果に基づいたコミュニケーション

健康診断結果を確認していると回答した事業所に対し、健康診断の結果に基づいて技能実習生に何らかのコミュニケーションをとったり、働きかけたりしたことがあるかを尋ねたところ、図 15 に示すように、63%があると回答し、32%がないと回答した。

あると回答した事業所に具体例を確認したところ、健康診断結果の説明や助言、相談等（一部は産業医等に相談した上で説明等を行っていた）の他、異常値が見られた場合の再検査や医療機関受診勧奨（付き添いを含む）等の対応が見られた。

Q：健康診断の結果に基づいて、技能実習生に対して何らかのコミュニケーションをとったり、働きかけをしたことがありますか？



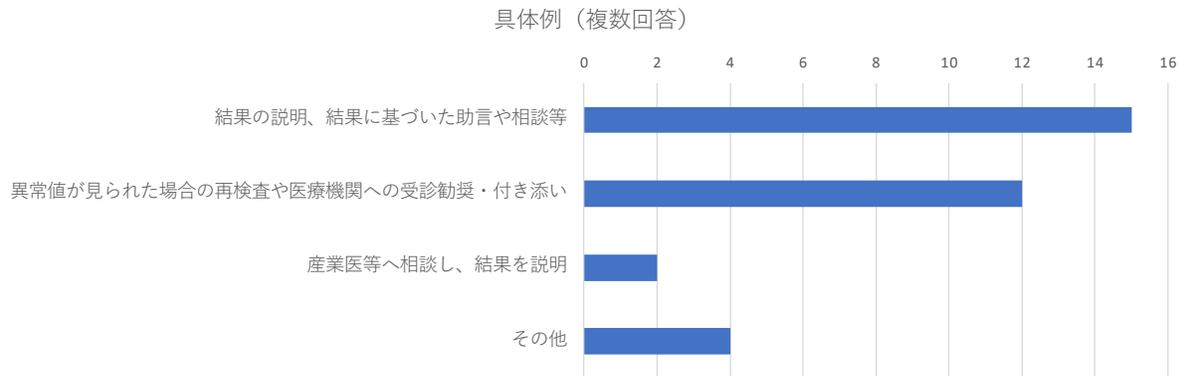


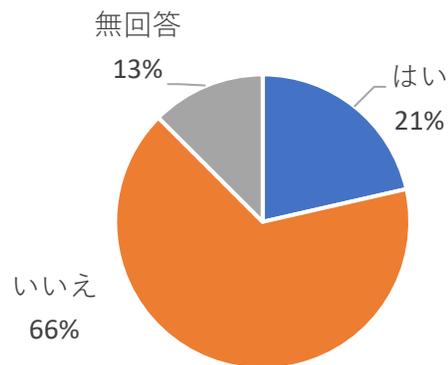
図 3-6-6 健康診断結果に基づいたコミュニケーションの有無と具体例

B) 健康診断結果に基づいて、変えた対応等

健康診断結果を確認していると回答した事業所に対し、健康診断の結果に基づいて、事業所側で対応を変えたこと等はあるかと尋ねたところ、図 16 に示すように、あると回答したのは全体の 21% のみであり、大半の 66% はないと回答した。

あると回答した事業所に具体例を確認したところ、結果の説明や改善方法の指導、再検査等の実施、必要な受診の勧奨、付き添い等が挙げられた。

Q：健康診断の結果に基づいて、事業所側で対応を変えるなど対応を行ったことがありますか？



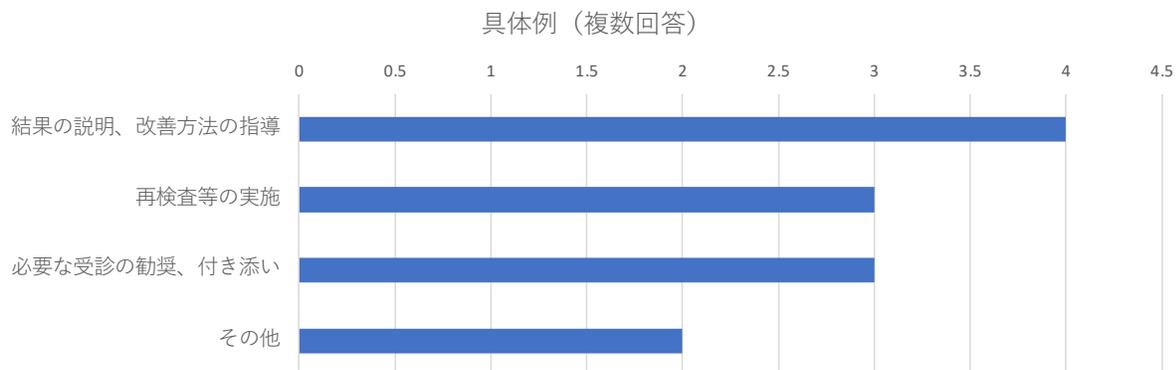


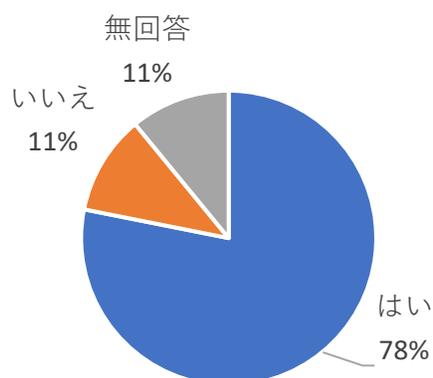
図 3-6-7 健康診断結果に基づいて変えた対応の有無と具体例

3. 2. 7. 技能実習生に健康上の問題が生じた時の相談先

技能実習生に健康上の問題が生じたときに、事業所の担当者が相談できるところがあるかを尋ねたところ、図 17 に示すように、78%があると回答し、11%がないと回答した。無回答は 11%であった。

あると回答した事業所は、相談先の具体例として、多い順に監理団体、社長や上司・指導員の他、事業所内診療所や健診部（実習先が医療機関である場合も含む）、近隣の医療機関、産業医等が挙げられた。

Q：技能実習生に健康上の問題が生じたときに、事業所の担当者が相談できるところがありますか？



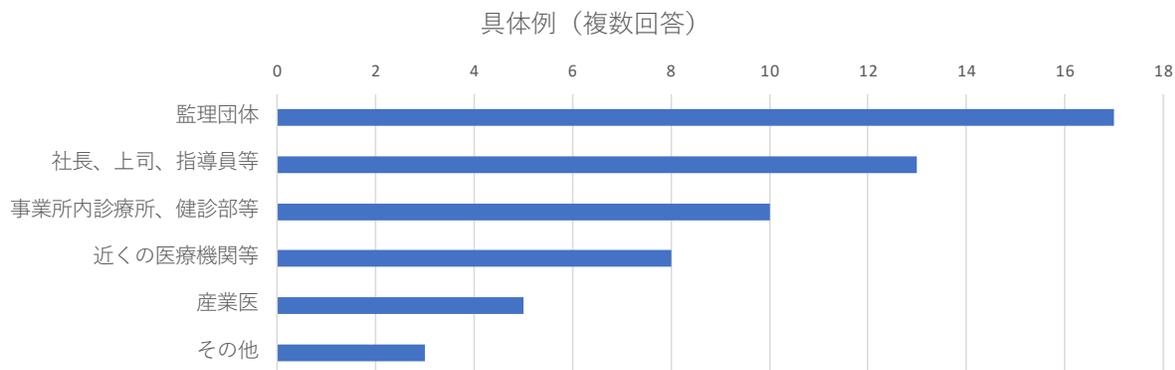


図 3-7-1 技能実習生に健康上の問題が生じた時の相談先の有無と具体例

3. 2. 8. 技能実習生が理解できる言語に対応している医療機関の有無

事業所内または事業所の近くで、電話等の同時通訳を含め、技能実習生が理解できる言語に対応している医療機関があるかを尋ねたところ、図 18 に示すように、最も多かったのは「わからない」であり、半数近く（45%）に達した。あると回答したのは全体の 14%にとどまり、ないと回答したのは 38%であった。

Q：事業所内または事業所の近くで、電話等での同時通訳を含め技能実習生が理解できる言語に対応している医療機関はありますか？

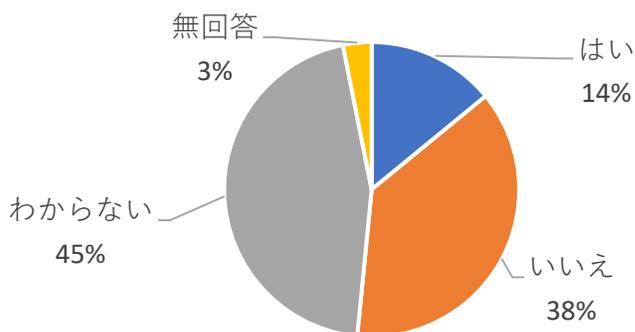


図 3-8-1 技能実習生が理解できる言語に対応している医療機関の有無